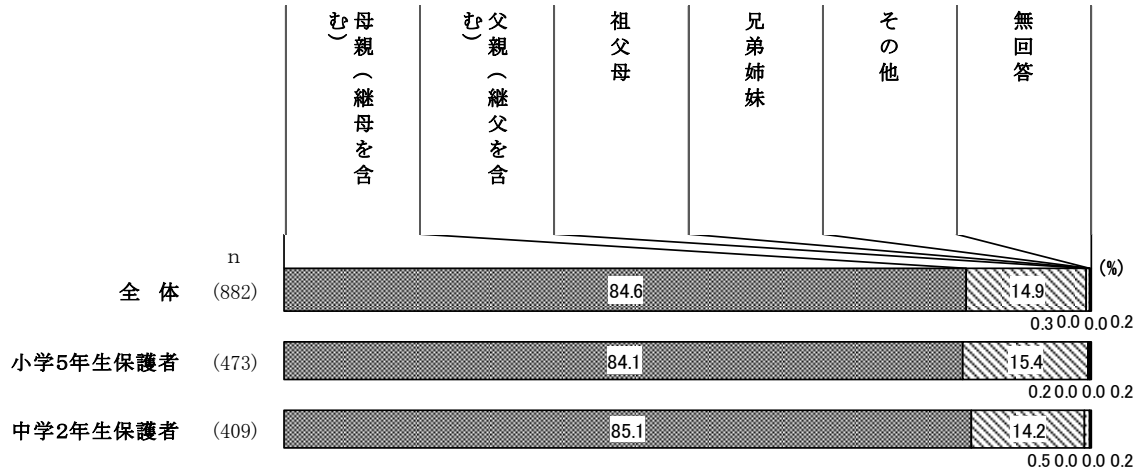
第２章　小学５年生・中学２年生保護者調査結果

１．世帯のことについて

（１）回答者

問１　この調査はどなたが回答されていますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

（あてはまるもの１つに○）



回答者について、全体では「母親（継母を含む）」が 84.6%を占め、小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに、同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／回答者／全体】

（上段：件　下段：%）

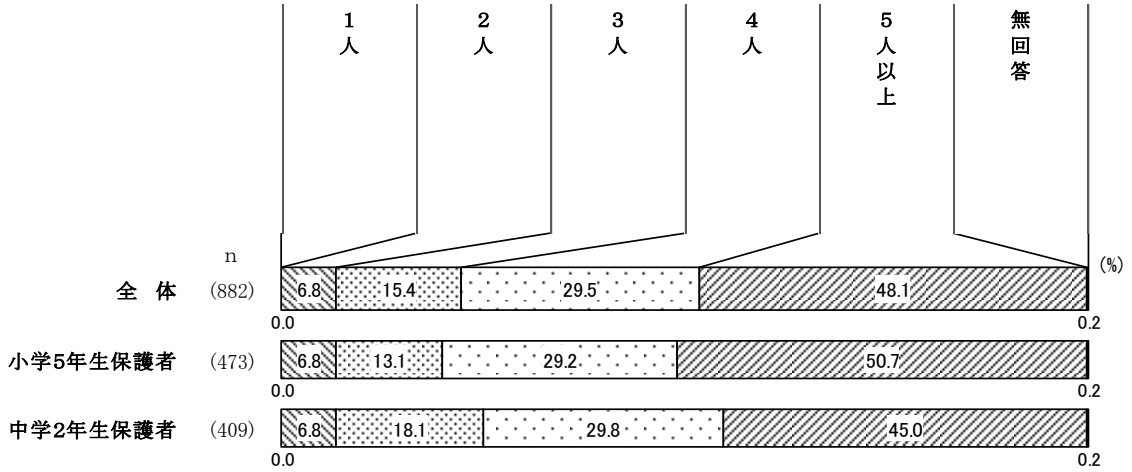
	調査数	母親（継母を含む）	父親（継父を含む）	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
全　体	882	746	131	3	－	－	2
	100.0	84.6	14.9	0.3	－	－	0.2
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	108	90	18	－	－	－	－
	100.0	83.3	16.7	－	－	－	－
ふたり親世帯	750	637	113	－	－	－	－
	100.0	84.9	15.1	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	19	－	3	－	－	2
	100.0	79.2	－	12.5	－	－	8.3
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	62	8	－	－	－	－
	100.0	88.6	11.4	－	－	－	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	28	10	－	－	－	－
	100.0	73.7	26.3	－	－	－	－
ふたり親世帯（共働き）	685	579	106	－	－	－	－
	100.0	84.5	15.5	－	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	58	7	－	－	－	－
	100.0	89.2	10.8	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	19	－	3	－	－	2
	100.0	79.2	－	12.5	－	－	8.3
集計区分							
Ａ世帯	143	134	9	－	－	－	－
	100.0	93.7	6.3	－	－	－	－
Ｂ世帯	685	562	120	3	－	－	－
	100.0	82.0	17.5	0.4	－	－	－

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに概ね同様の傾向となっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「父親（継父を含む）」が 6.3%と、Ｂ世帯（17.5%）を 11.2 ポイント下回っています。

（2）家族人数

問２　お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数をお答えください。
※単身赴任中の人は含めないでください。



家族人数について、全体では「５人以上」が 48.1%と最も多く、以下「４人」（29.5%）、「３人」（15.4%）となっています。小学５年生保護者では「５人以上」が 50.7%と中学２年生保護者（45.0%）を上回り、中学２年生保護者では「２人」（18.1%）が小学５年生保護者（13.1%）を 5.0 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／家族人数／全体】

（上段：件　下段：%）

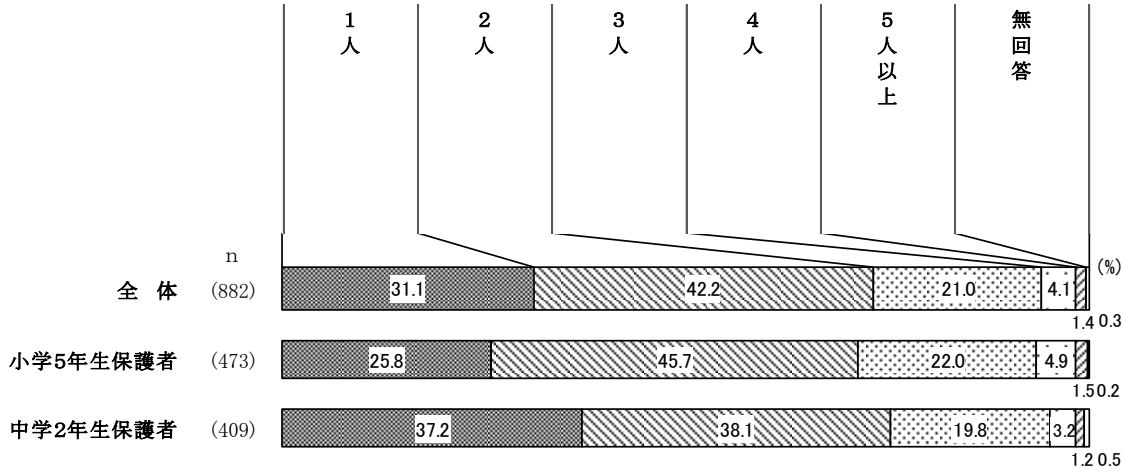
	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全　体	882	－	60	136	260	424	2
	100.0	－	6.8	15.4	29.5	48.1	0.2
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	108	－	25	29	28	26	－
	100.0	－	23.1	26.9	25.9	24.1	－
ふたり親世帯	750	－	32	103	226	389	－
	100.0	－	4.3	13.7	30.1	51.9	－
世帯タイプの把握が困難	24	－	3	4	6	9	2
	100.0	－	12.5	16.7	25.0	37.5	8.3
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	－	23	24	16	7	－
	100.0	－	32.9	34.3	22.9	10.0	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	－	2	5	12	19	－
	100.0	－	5.3	13.2	31.6	50.0	－
ふたり親世帯（共働き）	685	－	29	88	211	357	－
	100.0	－	4.2	12.8	30.8	52.1	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	－	3	15	15	32	－
	100.0	－	4.6	23.1	23.1	49.2	－
世帯タイプの把握が困難	24	－	3	4	6	9	2
	100.0	－	12.5	16.7	25.0	37.5	8.3
集計区分							
Ａ世帯	143	－	8	20	47	68	－
	100.0	－	5.6	14.0	32.9	47.6	－
Ｂ世帯	685	－	48	106	198	333	－
	100.0	－	7.0	15.5	28.9	48.6	－

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「２人」（23.1%）、「３人」（26.9%）、「４人」（25.9%）、「５人以上」（24.1%）がほぼ同率となっています。ふたり親世帯では「５人以上」（51.9%）が最も多く、以下「４人」（30.1%）、「３人」（13.7%）となっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯、Ｂ世帯ともに概ね同様の傾向となっています。

（3）17 歳以下の人数

問３　問２で回答したご家族のうち、令和３年 11 月１日現在、０歳から 17 歳以下の人の人数をお答えください。



17 歳以下の人数について、全体では「２人」が 42.2%と最も多く、以下「１人」（31.1%）、「３人」（21.0%）となっています。小学５年生保護者では「２人」が 45.7%と中学２年生保護者（38.1%）を上回り、中学２年生保護者では「１人」が 37.2%と、小学５年生保護者（25.8%）を 11.4 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／17 歳以下の人数／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全　体	882	274	372	185	36	12	3
	100.0	31.1	42.2	21.0	4.1	1.4	0.3
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	108	43	42	21	1	1	－
	100.0	39.8	38.9	19.4	0.9	0.9	－
ふたり親世帯	750	224	320	160	35	10	1
	100.0	29.9	42.7	21.3	4.7	1.3	0.1
世帯タイプの把握が困難	24	7	10	4	－	1	2
	100.0	29.2	41.7	16.7	－	4.2	8.3
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	27	27	14	1	1	－
	100.0	38.6	38.6	20.0	1.4	1.4	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	16	15	7	－	－	－
	100.0	42.1	39.5	18.4	－	－	－
ふたり親世帯（共働き）	685	203	297	144	32	8	1
	100.0	29.6	43.4	21.0	4.7	1.2	0.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	21	23	16	3	2	－
	100.0	32.3	35.4	24.6	4.6	3.1	－
世帯タイプの把握が困難	24	7	10	4	－	1	2
	100.0	29.2	41.7	16.7	－	4.2	8.3
集計区分							
Ａ世帯	143	32	62	43	3	3	－
	100.0	22.4	43.4	30.1	2.1	2.1	－
Ｂ世帯	685	219	289	134	33	9	1
	100.0	32.0	42.2	19.6	4.8	1.3	0.1

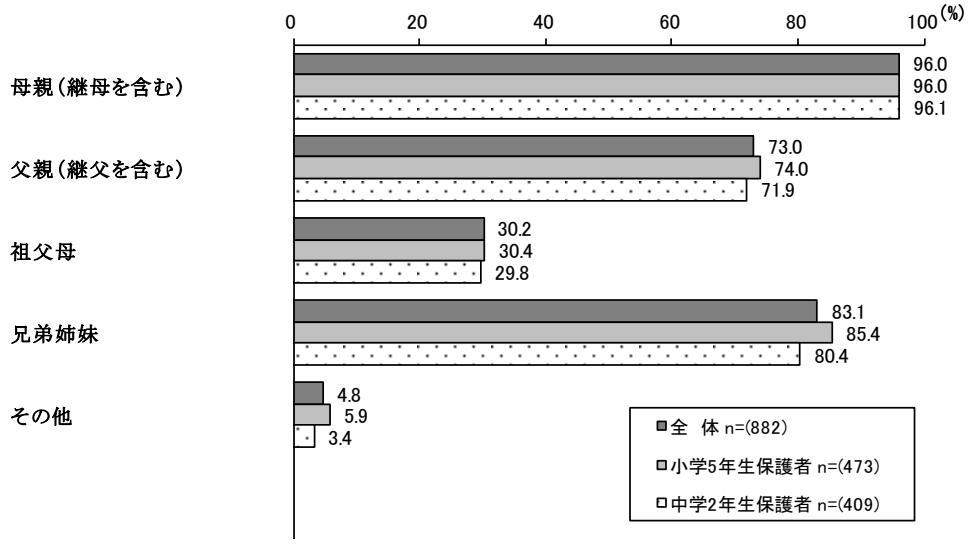
世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「１人」（39.8%）が最も多く、以下「２人」（38.9%）、「３人」（19.4%）となっています。ふたり親世帯では「２人」（42.7%）が最も多く、以下「１人」（29.9%）、「３人」（21.3%）となっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「２人」（43.4%）が最も多く、以下「３人」（30.1%）、「１人」（22.4%）となっています。Ｂ世帯では「２人」（42.2%）が最も多く、以下「１人」（32.0%）、「３人」（19.6%）となっています。Ａ世帯では「３人」がＢ世帯を 10.5 ポイント上回っています。

（4）家族構成

問４　問２で回答したご家族には、お子さんから見てどの関係の人が含まれますか。

（あてはまるものすべてに○）



家族構成について、全体では「母親（継母を含む）」が 96.0%と最も多く、以下「兄弟姉妹」（83.1%）、「父親（継父を含む）」（73.0%）、「祖父母」（30.2%）となっており、小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／家族構成／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	母親（継母を含む）	父親（継父を含む）	祖父母	兄弟姉妹	その他
全　体	882	847	644	266	733	42
	100.0	96.0	73.0	30.2	83.1	4.8
世帯タイプ（３区分）						
ひとり親世帯	108	91	17	36	81	10
	100.0	84.3	15.7	33.3	75.0	9.3
ふたり親世帯	750	735	612	224	635	31
	100.0	98.0	81.6	29.9	84.7	4.1
世帯タイプの把握が困難	24	21	15	6	17	1
	100.0	87.5	62.5	25.0	70.8	4.2
世帯タイプ（５区分）						
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	63	7	－	52	－
	100.0	90.0	10.0	－	74.3	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	28	10	36	29	10
	100.0	73.7	26.3	94.7	76.3	26.3
ふたり親世帯（共働き）	685	672	561	207	582	29
	100.0	98.1	81.9	30.2	85.0	4.2
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	63	51	17	53	2
	100.0	96.9	78.5	26.2	81.5	3.1
世帯タイプの把握が困難	24	21	15	6	17	1
	100.0	87.5	62.5	25.0	70.8	4.2
集計区分						
Ａ世帯	143	140	64	46	129	14
	100.0	97.9	44.8	32.2	90.2	9.8
Ｂ世帯	685	653	544	204	560	25
	100.0	95.3	79.4	29.8	81.8	3.6

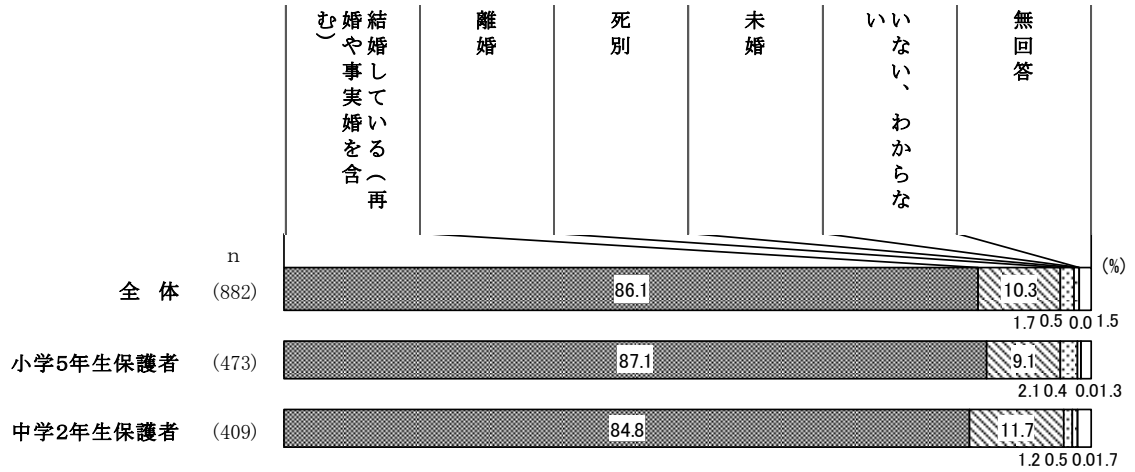
世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「母親（継母を含む）」が 84.3%と、「父親（継父を含む）」（15.7%）に比べて多くなっています。

集計区分別にみると、ひとり親世帯の多いＡ世帯では「父親（継父を含む）」が 44.8%と、Ｂ世帯（79.4%）を 34.6 ポイント下回っています。

（５）親の婚姻状況

問５　お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。

（あてはまるもの１つに○）



親の婚姻状況について、全体では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が 86.1%と最も多く、以下「離婚」（10.3%）、「死別」（1.7%）、「未婚」（0.5%）となっており、小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／親の婚姻状況／全体】

（上段：件　下段：％）

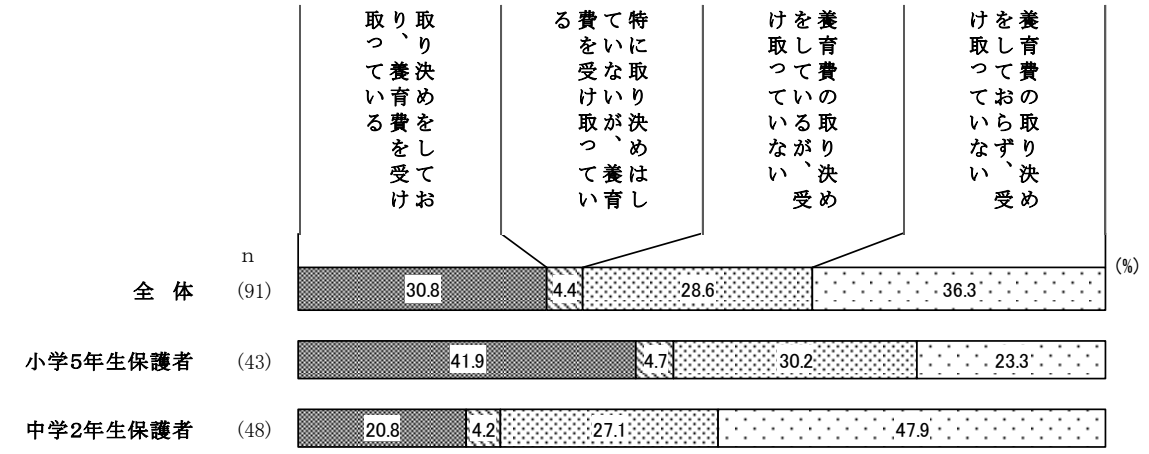
	調査数	結婚している（再婚や事実婚を含む）	離婚	死別	未婚	いない、わからない	無回答
全　体	882	759	91	15	4	－	13
	100.0	86.1	10.3	1.7	0.5	－	1.5
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	108	－	89	15	4	－	－
	100.0	－	82.4	13.9	3.7	－	－
ふたり親世帯	750	750	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	9	2	－	－	－	13
	100.0	37.5	8.3	－	－	－	54.2
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	－	59	8	3	－	－
	100.0	－	84.3	11.4	4.3	－	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	－	30	7	1	－	－
	100.0	－	78.9	18.4	2.6	－	－
ふたり親世帯（共働き）	685	685	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	65	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	9	2	－	－	－	13
	100.0	37.5	8.3	－	－	－	54.2
集計区分							
Ａ世帯	143	86	49	4	3	－	1
	100.0	60.1	34.3	2.8	2.1	－	0.7
Ｂ世帯	685	626	37	11	1	－	10
	100.0	91.4	5.4	1.6	0.1	－	1.5

集計区分別にみると、Ａ世帯では「離婚」が 34.3%と、Ｂ世帯（5.4%）を 28.9 ポイント上回り、Ｂ世帯では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が 91.4%と、Ａ世帯（60.1%）を 31.3 ポイント上回っています。

（６）離婚相手との子どもの養育費の取り決め

問６　問５で「離婚」を選んだ人にお聞きします。

離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの１つに○）



離婚相手との子どもの養育費の取り決めについて、全体では「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 36.3%と最も多く、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」（28.6%）を合わせた《養育費を受け取っていない》は 64.9%、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」（30.8%）、「特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている」（4.4%）を合わせた《養育費を受け取っている》は 35.2%となっています。《養育費を受け取っていない》は小学５年生保護者では 53.5%ですが、中学２年生保護者では 75.0%と４人に３人が該当しています。

【世帯タイプ別・集計区分別／離婚相手との子どもの養育費の取り決め／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	取り決めをしており、養育費を受け取っている	特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	養育費の取り決めをしているが、受け取っていない	養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
全　体	91	28	4	26	33
	100.0	30.8	4.4	28.6	36.3
世帯タイプ（３区分）					
ひとり親世帯	89	28	4	26	31
	100.0	31.5	4.5	29.2	34.8
ふたり親世帯	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	2	－	－	－	2
	100.0	－	－	－	100.0
世帯タイプ（５区分）					
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	59	21	4	18	16
	100.0	35.6	6.8	30.5	27.1
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	30	7	－	8	15
	100.0	23.3	－	26.7	50.0
ふたり親世帯（共働き）	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	2	－	－	－	2
	100.0	－	－	－	100.0
集計区分					
Ａ世帯	49	14	1	14	20
	100.0	28.6	2.0	28.6	40.8
Ｂ世帯	37	14	3	11	9
	100.0	37.8	8.1	29.7	24.3

集計区分別にみると、Ａ世帯、Ｂ世帯ともに《養育費を受け取っていない》が過半数を占め、Ａ世帯では 69.4%と、Ｂ世帯（54.0%）を 15.4 ポイント上回っています。

【世帯タイプ（４区分）別／離婚相手との子どもの養育費の取り決め／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	取り決めをしており、養育費を受け取っている	特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている	養育費の取り決めをしているが、受け取っていない	養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
全　体	91	28	4	26	33
	100.0	30.8	4.4	28.6	36.3
世帯タイプ（４区分）					
ひとり親世帯（母子世帯）	78	24	4	24	26
	100.0	30.8	5.1	30.8	33.3
ひとり親世帯（父子世帯）	11	4	－	2	5
	100.0	36.4	－	18.2	45.5
ふたり親世帯	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	2	－	－	－	2
	100.0	－	－	－	100.0

「第二次山形県子どもの貧困対策推進計画（令和３年３月　山形県）」における令和７年度の数値目標の１つとして「養育費の取決めをしている世帯数（母子・父子世帯別）」が設定されています。令和元年度の現状値は、山形県全体で母子世帯が 58.5%、父子世帯が 47.4%となっています。それに対する令和７年度の目標値としては、母子世帯、父子世帯ともに「増加させる」となっています。

本調査結果からみる養育費の取り決めをしているについて、母子世帯では「取り決めをしており、養育費を受け取っている」（30.8%）と「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」（30.8%）を合わせた《養育費の取り決めをしている》は 61.6%となっています。父子世帯では「取り決めをしており、養育費を受け取っている（36.4%）と「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」（18.2%）を合わせた《養育費の取り決めをしている》は 54.6%となっています。

かねたん

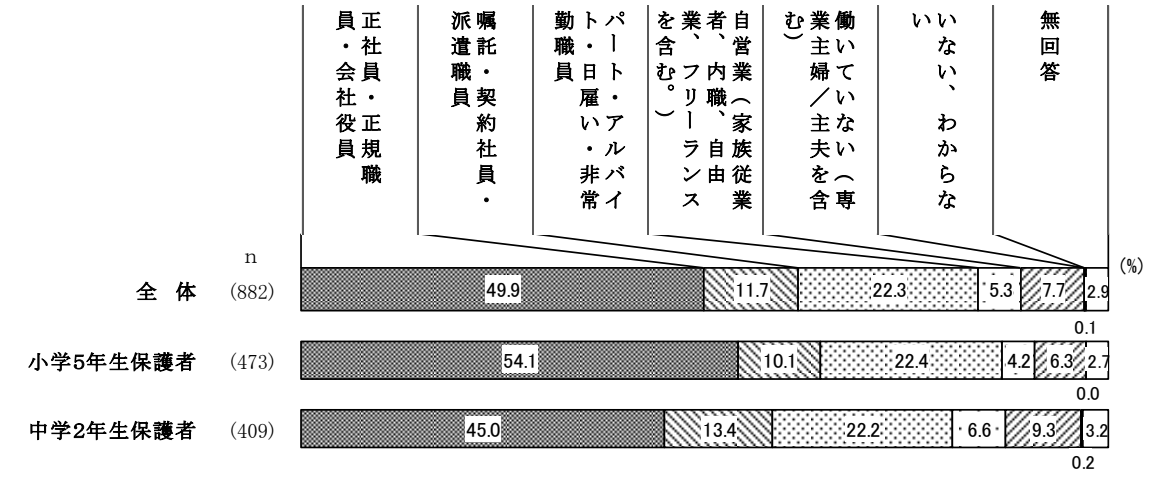
２．就労や収入等について

（１）就労状況

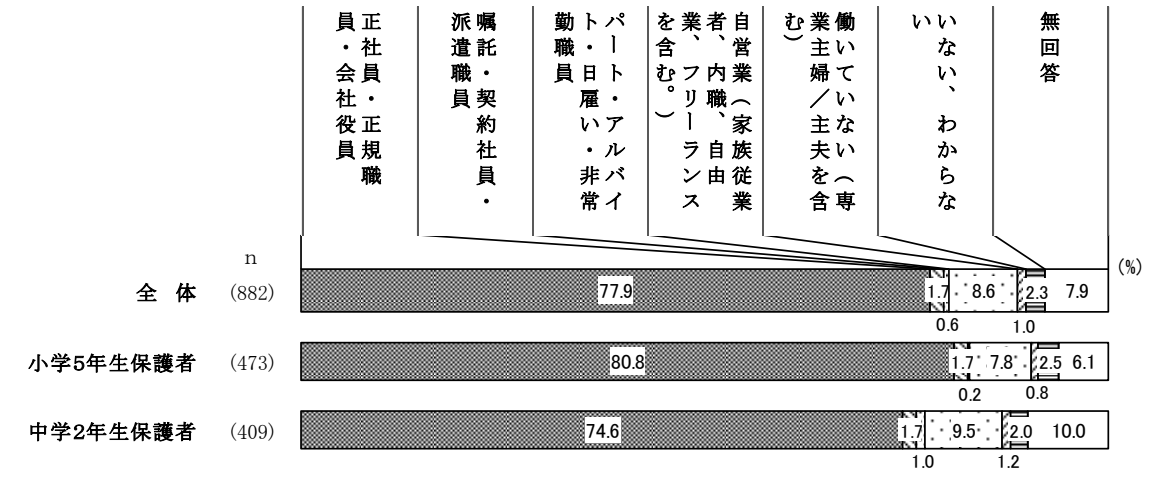
問７　お子さんの親の就労状況について、あてはまるものをお答えください。

（母親、父親それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

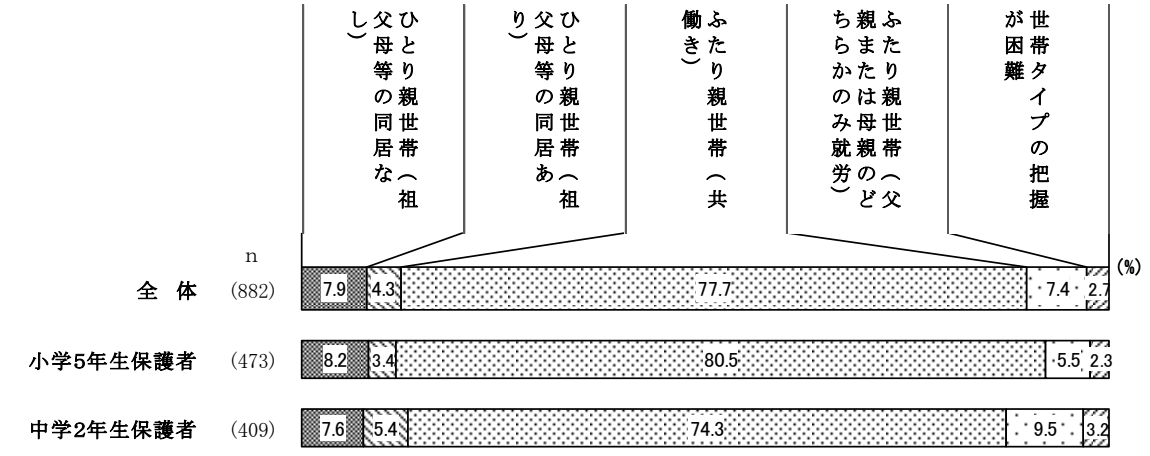
【母親】



【父親】



【世帯タイプ】



母親の就労状況について、全体では「正社員・正規職員・会社役員」が 49.9%と最も多く、以下「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（22.3%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」（11.7%）、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」（7.7%）、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」（5.3%）となっています。小学５年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」が 54.1%と、中学２年生保護者（45.0%）を 9.1 ポイント上回っています。

父親の就労状況について、全体では「正社員・正規職員・会社役員」が 77.9%と最も多く、以下「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」（8.6%）、「いない、わからない」（2.3%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」（1.7%）となっています。小学５年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」が 80.8%と、中学２年生保護者（74.6%）を 6.2 ポイント上回っています。

家族構成や親の婚姻状況と両親の就労状況を掛け合わせた世帯タイプ（算出方法は、第１章　調査実施の概要　５．調査結果の分析方法　（１）世帯タイプ参照）について、全体では「ふたり親世帯（共働き）」が 77.7%を占めています。小学５年生保護者では「ふたり親世帯（共働き）」が 80.5%と、中学２年生保護者（74.3%）を 6.2 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／就労状況（母親）／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む）	いない、わからない	無回答
全　体	882	440	103	197	47	68	1	26
	100.0	49.9	11.7	22.3	5.3	7.7	0.1	2.9
世帯タイプ（３区分）								
ひとり親世帯	108	50	9	20	4	5	1	19
	100.0	46.3	8.3	18.5	3.7	4.6	0.9	17.6
ふたり親世帯	750	381	93	176	41	59	－	－
	100.0	50.8	12.4	23.5	5.5	7.9	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	9	1	1	2	4	－	7
	100.0	37.5	4.2	4.2	8.3	16.7	－	29.2
世帯タイプ（５区分）								
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	32	6	17	3	3	1	8
	100.0	45.7	8.6	24.3	4.3	4.3	1.4	11.4
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	18	3	3	1	2	－	11
	100.0	47.4	7.9	7.9	2.6	5.3	－	28.9
ふたり親世帯（共働き）	685	378	92	175	40	－	－	－
	100.0	55.2	13.4	25.5	5.8	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	3	1	1	1	59	－	－
	100.0	4.6	1.5	1.5	1.5	90.8	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	9	1	1	2	4	－	7
	100.0	37.5	4.2	4.2	8.3	16.7	－	29.2
集計区分								
Ａ世帯	143	54	13	44	11	18	－	3
	100.0	37.8	9.1	30.8	7.7	12.6	－	2.1
Ｂ世帯	685	373	81	137	35	43	－	16
	100.0	54.5	11.8	20.0	5.1	6.3	－	2.3

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く、ひとり親世帯（46.3%）がふたり親世帯（50.8%）を 4.5 ポイント下回っています。また、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」がひとり親世帯では 18.5%と、ふたり親世帯（23.5%）を 5.0 ポイント下回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が 37.8%とＢ世帯（54.5%）を 16.7 ポイント下回り、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 30.8%とＢ世帯（20.0%）を 10.8 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／就労状況（父親）／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む）	いない、わからない	無回答
全　体	882	687	15	5	76	9	20	70
	100.0	77.9	1.7	0.6	8.6	1.0	2.3	7.9
世帯タイプ（３区分）								
ひとり親世帯	108	18	－	－	6	1	19	64
	100.0	16.7	－	－	5.6	0.9	17.6	59.3
ふたり親世帯	750	659	14	5	66	6	－	－
	100.0	87.9	1.9	0.7	8.8	0.8	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	10	1	－	4	2	1	6
	100.0	41.7	4.2	－	16.7	8.3	4.2	25.0
世帯タイプ（５区分）								
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	11	－	－	2	1	14	42
	100.0	15.7	－	－	2.9	1.4	20.0	60.0
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	7	－	－	4	－	5	22
	100.0	18.4	－	－	10.5	－	13.2	57.9
ふたり親世帯（共働き）	685	608	14	5	58	－	－	－
	100.0	88.8	2.0	0.7	8.5	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	51	－	－	8	6	－	－
	100.0	78.5	－	－	12.3	9.2	－	－
世帯タイプの把握が困難	24	10	1	－	4	2	1	6
	100.0	41.7	4.2	－	16.7	8.3	4.2	25.0
集計区分								
Ａ世帯	143	65	4	2	15	6	12	39
	100.0	45.5	2.8	1.4	10.5	4.2	8.4	27.3
Ｂ世帯	685	584	10	3	56	3	7	22
	100.0	85.3	1.5	0.4	8.2	0.4	1.0	3.2

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が 16.7%と、ふたり親世帯（87.9%）を 71.2 ポイント下回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が 45.5%と、Ｂ世帯（85.3%）を 39.8 ポイント下回っています。

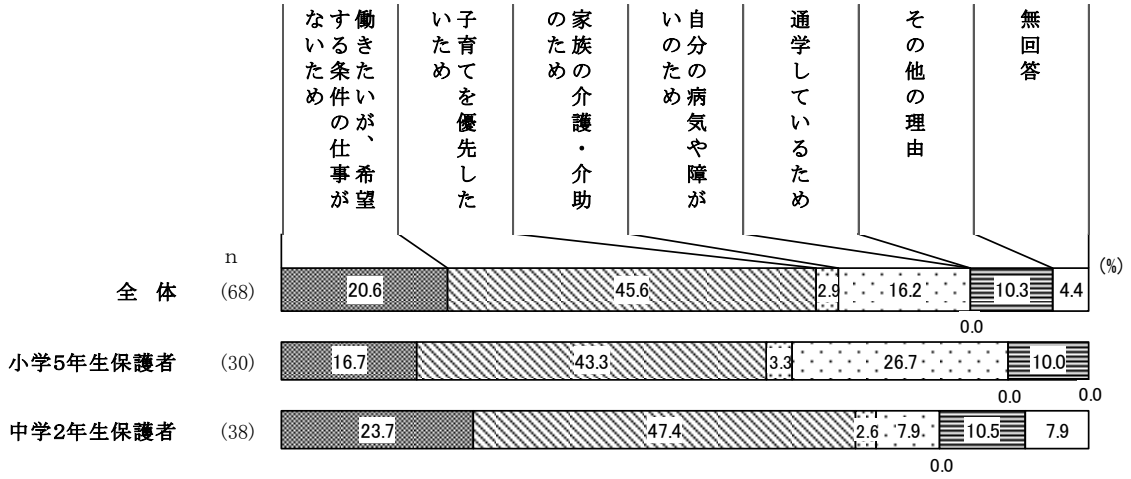
（2）働いていない最も主な理由

問８　問７で「働いていない」を選んだ人にお聞きします。

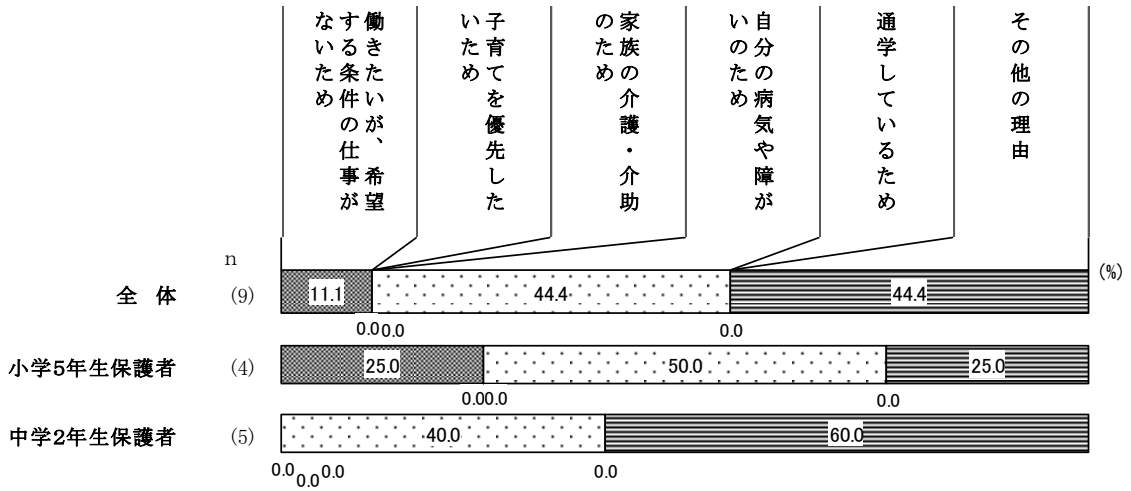
働いていない最も主な理由をお答えください。

（母親、父親それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

【母親】



【父親】



母親が働いていない最も主な理由について、全体では「子育てを優先したいため」が 45.6%と最も多く、以下「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」（20.6%）、「自分の病気や障がいのため」（16.2%）となっています。小学５年生保護者では「自分の病気や障がいのため」が 26.7%と、中学２年生保護者（7.9%）を 18.8 ポイント上回っています。

父親が働いていない最も主な理由について、全体では「自分の病気や障がいのため」、「その他の理由」がともに 44.4%となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／働いていない最も主な理由（母親）／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	働きたいが、希望する条件の仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障がいのため	通学しているため	その他の理由	無回答
全　体	68	14	31	2	11	－	7	3
	100.0	20.6	45.6	2.9	16.2	－	10.3	4.4
世帯タイプ（３区分）								
ひとり親世帯	5	1	－	－	4	－	－	－
	100.0	20.0	－	－	80.0	－	－	－
ふたり親世帯	59	13	29	2	5	－	7	3
	100.0	22.0	49.2	3.4	8.5	－	11.9	5.1
世帯タイプの把握が困難	4	－	2	－	2	－	－	－
	100.0	－	50.0	－	50.0	－	－	－
世帯タイプ（５区分）								
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	3	－	－	－	3	－	－	－
	100.0	－	－	－	100.0	－	－	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	2	1	－	－	1	－	－	－
	100.0	50.0	－	－	50.0	－	－	－
ふたり親世帯（共働き）	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	59	13	29	2	5	－	7	3
	100.0	22.0	49.2	3.4	8.5	－	11.9	5.1
世帯タイプの把握が困難	4	－	2	－	2	－	－	－
	100.0	－	50.0	－	50.0	－	－	－
集計区分								
Ａ世帯	18	2	9	1	5	－	－	1
	100.0	11.1	50.0	5.6	27.8	－	－	5.6
Ｂ世帯	43	11	17	1	5	－	7	2
	100.0	25.6	39.5	2.3	11.6	－	16.3	4.7

世帯タイプ別・集計区分別については、基数が少ないため、クロス集計表の掲載のみに留めます。

【世帯タイプ別・集計区分別／働いていない最も主な理由（父親）／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	働きたいが、希望する条件の仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障がいのため	通学しているため	その他の理由
全　体	9	1	－	－	4	－	4
	100.0	11.1	－	－	44.4	－	44.4
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	1	1	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
ふたり親世帯	6	－	－	－	3	－	3
	100.0	－	－	－	50.0	－	50.0
世帯タイプの把握が困難	2	－	－	－	1	－	1
	100.0	－	－	－	50.0	－	50.0
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	1	1	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
ふたり親世帯（共働き）	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	6	－	－	－	3	－	3
	100.0	－	－	－	50.0	－	50.0
世帯タイプの把握が困難	2	－	－	－	1	－	1
	100.0	－	－	－	50.0	－	50.0
集計区分							
A世帯	6	1	－	－	2	－	3
	100.0	16.7	－	－	33.3	－	50.0
B世帯	3	－	－	－	2	－	1
	100.0	－	－	－	66.7	－	33.3

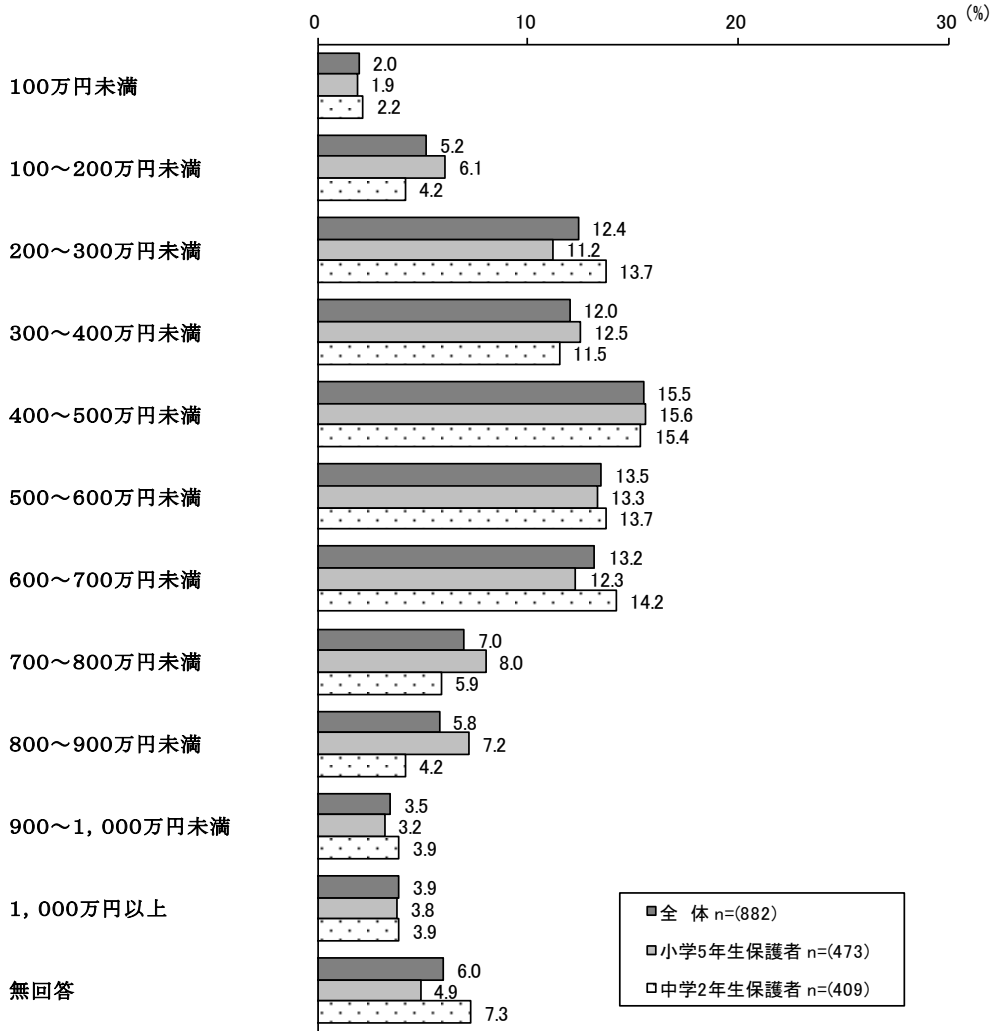
世帯タイプ別・集計区分別については、基数が少ないため、クロス集計表の掲載のみに留めます。

かねたん

（3）令和２年１月～12 月の手取り収入

問９　昨年（令和２年１月～12 月）のあなたの世帯の収入（税金や社会保険料等を差し引いた、いわゆる手取り収入）の合計額はどのくらいですか。

なお、ここでいう収入には仕事で得た収入のほか、株式配当などの副収入、年金収入、児童手当などの公的な手当・給付金、養育費等を含みます。（あてはまるもの１つに○）



令和２年１月～12 月の手取り収入について、全体では「400～500 万円未満」が 15.5%と最も多く、《500 万円未満》は 47.1%、《500 万円以上》は 46.9%となっています。小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／令和２年１月～12 月の手取り収入／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	１００万円未満	満１００～２００万円未	満２００～３００万円未	満３００～４００万円未	満４００～５００万円未	満５００～６００万円未	満６００～７００万円未	満７００～８００万円未	満８００～９００万円未	円９未０満０～１，０００万	１，０００万円以上	無回答
全　体	882	18	46	109	106	137	119	116	62	51	31	34	53
	100.0	2.0	5.2	12.4	12.0	15.5	13.5	13.2	7.0	5.8	3.5	3.9	6.0
世帯タイプ（３区分）													
ひとり親世帯	108	10	27	35	12	10	5	1	1	－	1	1	5
	100.0	9.3	25.0	32.4	11.1	9.3	4.6	0.9	0.9	－	0.9	0.9	4.6
ふたり親世帯	750	8	17	70	92	123	111	114	60	50	30	32	43
	100.0	1.1	2.3	9.3	12.3	16.4	14.8	15.2	8.0	6.7	4.0	4.3	5.7
世帯タイプの把握が困難	24	－	2	4	2	4	3	1	1	1	－	1	5
	100.0	－	8.3	16.7	8.3	16.7	12.5	4.2	4.2	4.2	－	4.2	20.8
世帯タイプ（５区分）													
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	8	22	24	4	6	3	－	1	－	－	－	2
	100.0	11.4	31.4	34.3	5.7	8.6	4.3	－	1.4	－	－	－	2.9
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	2	5	11	8	4	2	1	－	－	1	1	3
	100.0	5.3	13.2	28.9	21.1	10.5	5.3	2.6	－	－	2.6	2.6	7.9
ふたり親世帯（共働き）	685	5	15	59	81	116	104	109	55	47	26	31	37
	100.0	0.7	2.2	8.6	11.8	16.9	15.2	15.9	8.0	6.9	3.8	4.5	5.4
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	3	2	11	11	7	7	5	5	3	4	1	6
	100.0	4.6	3.1	16.9	16.9	10.8	10.8	7.7	7.7	4.6	6.2	1.5	9.2
世帯タイプの把握が困難	24	－	2	4	2	4	3	1	1	1	－	1	5
	100.0	－	8.3	16.7	8.3	16.7	12.5	4.2	4.2	4.2	－	4.2	20.8
集計区分													
A世帯	143	18	46	75	4	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	12.6	32.2	52.4	2.8	－	－	－	－	－	－	－	－
B世帯	685	－	－	33	102	137	119	116	62	51	31	34	－
	100.0	－	－	4.8	14.9	20.0	17.4	16.9	9.1	7.4	4.5	5.0	－

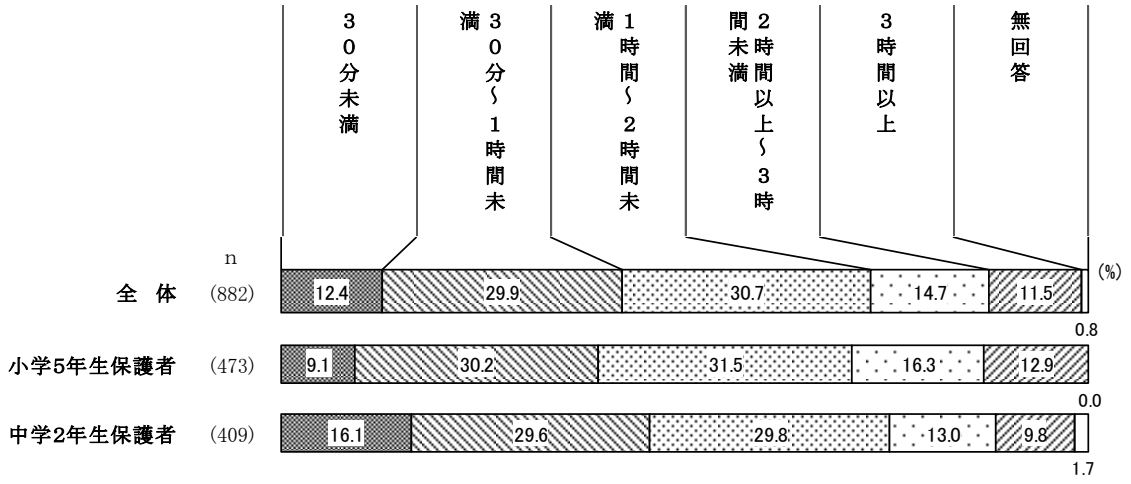
世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では《500 万円未満》が 87.1%と、ふたり親世帯（41.4%）を 45.7 ポイント上回り、《300 万円未満》は 66.7%となっています。ふたり親世帯では《500 万円以上》が 53.0%と、ひとり親世帯（8.2%）を 44.8 ポイント上回っています。

３．お子さんとの関わりについて

（１）１日あたりの子どもとのコミュニケーションの時間

問 10　あなたの世帯では、保護者の方は１日にどのくらいの時間、お子さんの勉強を見る、一緒に遊ぶ、学校の話をするなどのコミュニケーションをとっていますか。

（あてはまるもの１つに○）



１日あたりの子どもとのコミュニケーションの時間について、全体では「１時間～２時間未満」（30.7%）、「30 分～１時間未満」（29.9%）がともに多く、以下「２時間以上～３時間未満」（14.7%）、「30 分未満」（12.4%）、「３時間以上」（11.5%）となっています。中学２年生保護者では「30 分未満」が 16.1%と、小学５年生保護者（9.1%）を 7.0 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／１日あたりの子どもとのコミュニケーションの時間／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	３０分未満	３０分～１時間未満	１時間～２時間未満	２時間以上～３時間未満	３時間以上	無回答
全　体	882	109	264	271	130	101	7
	100.0	12.4	29.9	30.7	14.7	11.5	0.8
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	108	27	28	31	13	9	－
	100.0	25.0	25.9	28.7	12.0	8.3	－
ふたり親世帯	750	79	228	233	114	89	7
	100.0	10.5	30.4	31.1	15.2	11.9	0.9
世帯タイプの把握が困難	24	3	8	7	3	3	－
	100.0	12.5	33.3	29.2	12.5	12.5	－
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	17	19	17	9	8	－
	100.0	24.3	27.1	24.3	12.9	11.4	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	10	9	14	4	1	－
	100.0	26.3	23.7	36.8	10.5	2.6	－
ふたり親世帯（共働き）	685	74	217	214	101	74	5
	100.0	10.8	31.7	31.2	14.7	10.8	0.7
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	5	11	19	13	15	2
	100.0	7.7	16.9	29.2	20.0	23.1	3.1
世帯タイプの把握が困難	24	3	8	7	3	3	－
	100.0	12.5	33.3	29.2	12.5	12.5	－
集計区分							
Ａ世帯	143	25	38	38	20	21	1
	100.0	17.5	26.6	26.6	14.0	14.7	0.7
Ｂ世帯	685	76	213	218	101	71	6
	100.0	11.1	31.1	31.8	14.7	10.4	0.9

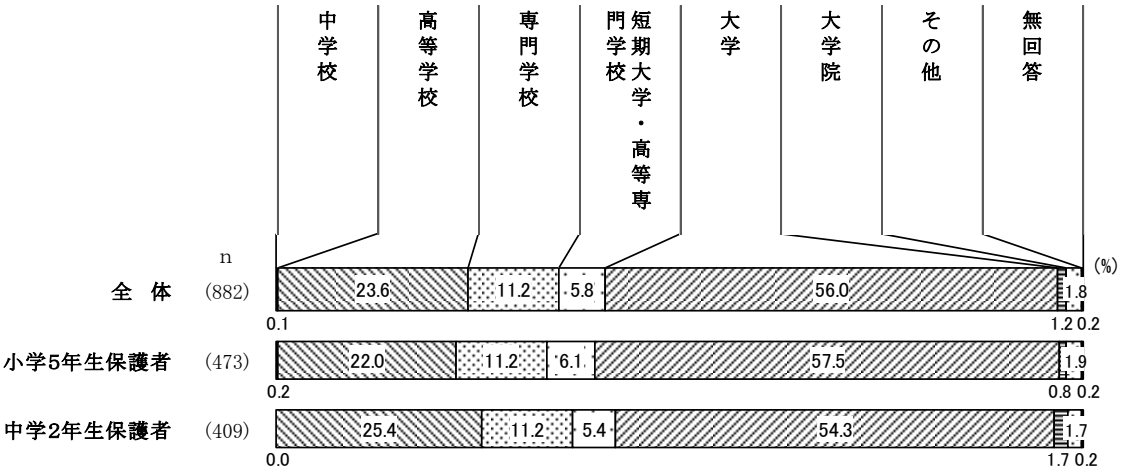
世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「１時間～２時間未満」（28.7%）、「30分～１時間未満」（25.9%）、「30 分未満」（25.0%）と、《２時間未満》が 79.6%を占めています。ふたり親世帯では「１時間～２時間未満」（31.1%）、「30 分～１時間未満」（30.4%）がともに多く、以下「２時間以上～３時間未満」（15.2%）となっています。ひとり親世帯では「30 分未満」がふたり親（10.5%）を 14.5 ポイント上回っているなど、ふたり親世帯に比べて子どもとのコミュニケーションの時間が短くなっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「30 分～１時間未満」、「１時間～２時間未満」がともに 26.6%と多く、以下「30 分未満」（17.5%）、「３時間以上」（14.7%）となっています。Ｂ世帯では「１時間～２時間未満」（31.8%）、「30 分～１時間未満」（31.1%）がともに多く、以下「２時間以上～３時間未満」（14.7%）となっています。

（2）子どもの進学段階の希望

問 11　あなたは、お子さんにどの程度まで進学してほしいと考えていますか。お子さんの考えや希望に関わらず、あなた自身の考えにもっとも近いものをお答えください。

（あてはまるもの１つに○）



子どもの進学段階の希望について、全体では「大学」が 56.0%と最も多く、以下「高等学校」（23.6%）、「専門学校」（11.2%）、「短期大学・高等専門学校」（5.8%）となっており、小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どもの進学段階の希望／全体】

（上段：件　下段：％）

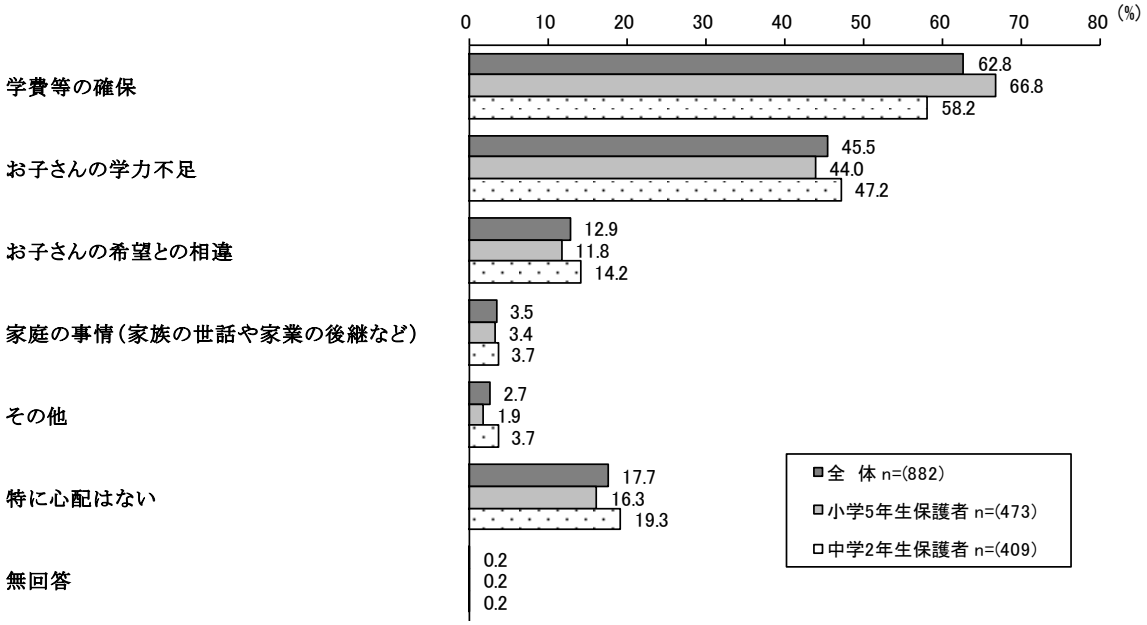
	調査数	中学校	高等学校	専門学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
全　体	882	1	208	99	51	494	11	16	2
	100.0	0.1	23.6	11.2	5.8	56.0	1.2	1.8	0.2
世帯タイプ（３区分）									
ひとり親世帯	108	－	31	16	4	52	1	3	1
	100.0	－	28.7	14.8	3.7	48.1	0.9	2.8	0.9
ふたり親世帯	750	1	170	79	46	432	10	11	1
	100.0	0.1	22.7	10.5	6.1	57.6	1.3	1.5	0.1
世帯タイプの把握が困難	24	－	7	4	1	10	－	2	－
	100.0	－	29.2	16.7	4.2	41.7	－	8.3	－
世帯タイプ（５区分）									
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	－	23	7	2	34	1	3	－
	100.0	－	32.9	10.0	2.9	48.6	1.4	4.3	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	－	8	9	2	18	－	－	1
	100.0	－	21.1	23.7	5.3	47.4	－	－	2.6
ふたり親世帯（共働き）	685	－	157	75	43	394	6	9	1
	100.0	－	22.9	10.9	6.3	57.5	0.9	1.3	0.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	1	13	4	3	38	4	2	－
	100.0	1.5	20.0	6.2	4.6	58.5	6.2	3.1	－
世帯タイプの把握が困難	24	－	7	4	1	10	－	2	－
	100.0	－	29.2	16.7	4.2	41.7	－	8.3	－
集計区分									
Ａ世帯	143	1	57	23	7	48	2	5	－
	100.0	0.7	39.9	16.1	4.9	33.6	1.4	3.5	－
Ｂ世帯	685	－	137	68	43	418	7	10	2
	100.0	－	20.0	9.9	6.3	61.0	1.0	1.5	0.3

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「大学」が 48.1％と、ふたり親世帯（57.6％）を 9.5 ポイント下回り、「高等学校」（28.7％）で 6.0 ポイント、「専門学校」（14.8％）で 4.3 ポイント、ふたり親世帯を上回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「大学」が 33.6％と、Ｂ世帯（61.0％）を 27.4 ポイント下回り、「高等学校」（39.9％）で 19.9 ポイント、「専門学校」（16.1％）で 6.2 ポイント、Ｂ世帯を上回っています。

（3）子どもの進学で心配なこと

問 12　お子さんの進学について心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）



子どもの進学で心配なことについて、全体では「学費等の確保」が 62.8%と最も多く、以下「お子さんの学力不足」（45.5%）、「お子さんの希望との相違」（12.9%）となっており、「特に心配はない」は 17.7%となっています。

小学５年生保護者では「学費等の確保」が 66.8%と、中学２年生保護者（58.2%）を 8.6 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どもの進学で心配なこと／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	学費等の確保	お子さんの学力不足	お子さんの希望との相違	家庭の事情（家族の世話や家業の後継など）	その他	特に心配はない	無回答
全　体	882	554	401	114	31	24	156	2
	100.0	62.8	45.5	12.9	3.5	2.7	17.7	0.2
世帯タイプ（３区分）								
ひとり親世帯	108	78	55	12	8	8	12	－
	100.0	72.2	50.9	11.1	7.4	7.4	11.1	－
ふたり親世帯	750	461	340	99	23	15	139	2
	100.0	61.5	45.3	13.2	3.1	2.0	18.5	0.3
世帯タイプの把握が困難	24	15	6	3	－	1	5	－
	100.0	62.5	25.0	12.5	－	4.2	20.8	－
世帯タイプ（５区分）								
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	54	38	9	4	6	4	－
	100.0	77.1	54.3	12.9	5.7	8.6	5.7	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	24	17	3	4	2	8	－
	100.0	63.2	44.7	7.9	10.5	5.3	21.1	－
ふたり親世帯（共働き）	685	430	311	89	20	14	124	1
	100.0	62.8	45.4	13.0	2.9	2.0	18.1	0.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	31	29	10	3	1	15	1
	100.0	47.7	44.6	15.4	4.6	1.5	23.1	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	15	6	3	－	1	5	－
	100.0	62.5	25.0	12.5	－	4.2	20.8	－
集計区分								
Ａ世帯	143	105	67	19	5	6	17	1
	100.0	73.4	46.9	13.3	3.5	4.2	11.9	0.7
Ｂ世帯	685	411	314	89	23	16	129	－
	100.0	60.0	45.8	13.0	3.4	2.3	18.8	－

世帯タイプ（３区分）別にみると、上位２項目はひとり親世帯、ふたり親世帯で共通となっています。しかし、ひとり親世帯では「学費等の確保」（72.2%）で 10.7 ポイント、「お子さんの学力不足」（50.9%）で 5.6 ポイント、ふたり親世帯を上回っています。

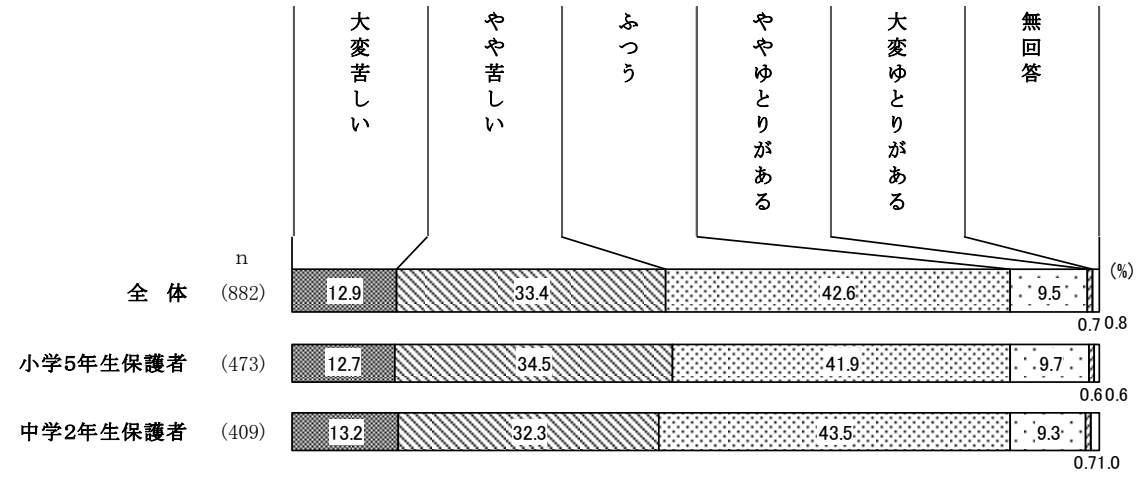
集計区分別にみると、Ａ世帯では「学費等の確保」（73.4%）で 13.4 ポイント、Ｂ世帯（60.0%）を上回っています。

４．家計の状況について

（１）現在の暮らしの状況

問 13　あなたは、現在の暮らしの状況を総合的に見て、どのように感じていますか。

（あてはまるもの１つに○）



現在の暮らしの状況について、全体では「ふつう」が 42.6%と最も多くなっています。「大変ゆとりがある」（0.7%）と「ややゆとりがある」（9.5%）を合わせた《ゆとりがある》が 10.2%であるのに対し、「大変苦しい」（12.9%）と「やや苦しい」（33.4%）を合わせた《苦しい》は 46.3%となっており、小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／現在の暮らしの状況／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全　体	882	114	295	376	84	6	7
	100.0	12.9	33.4	42.6	9.5	0.7	0.8
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	108	34	39	27	7	－	1
	100.0	31.5	36.1	25.0	6.5	－	0.9
ふたり親世帯	750	77	244	341	76	6	6
	100.0	10.3	32.5	45.5	10.1	0.8	0.8
世帯タイプの把握が困難	24	3	12	8	1	－	－
	100.0	12.5	50.0	33.3	4.2	－	－
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	25	28	13	4	－	－
	100.0	35.7	40.0	18.6	5.7	－	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	9	11	14	3	－	1
	100.0	23.7	28.9	36.8	7.9	－	2.6
ふたり親世帯（共働き）	685	70	225	309	70	6	5
	100.0	10.2	32.8	45.1	10.2	0.9	0.7
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	7	19	32	6	－	1
	100.0	10.8	29.2	49.2	9.2	－	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	3	12	8	1	－	－
	100.0	12.5	50.0	33.3	4.2	－	－
集計区分							
Ａ世帯	143	45	56	33	8	－	1
	100.0	31.5	39.2	23.1	5.6	－	0.7
Ｂ世帯	685	62	219	319	74	6	5
	100.0	9.1	32.0	46.6	10.8	0.9	0.7

世帯タイプ(３区分)別にみると、ひとり親世帯では《苦しい》が 67.6%と、ふたり親世帯(42.8%)を 24.8 ポイント上回っています。

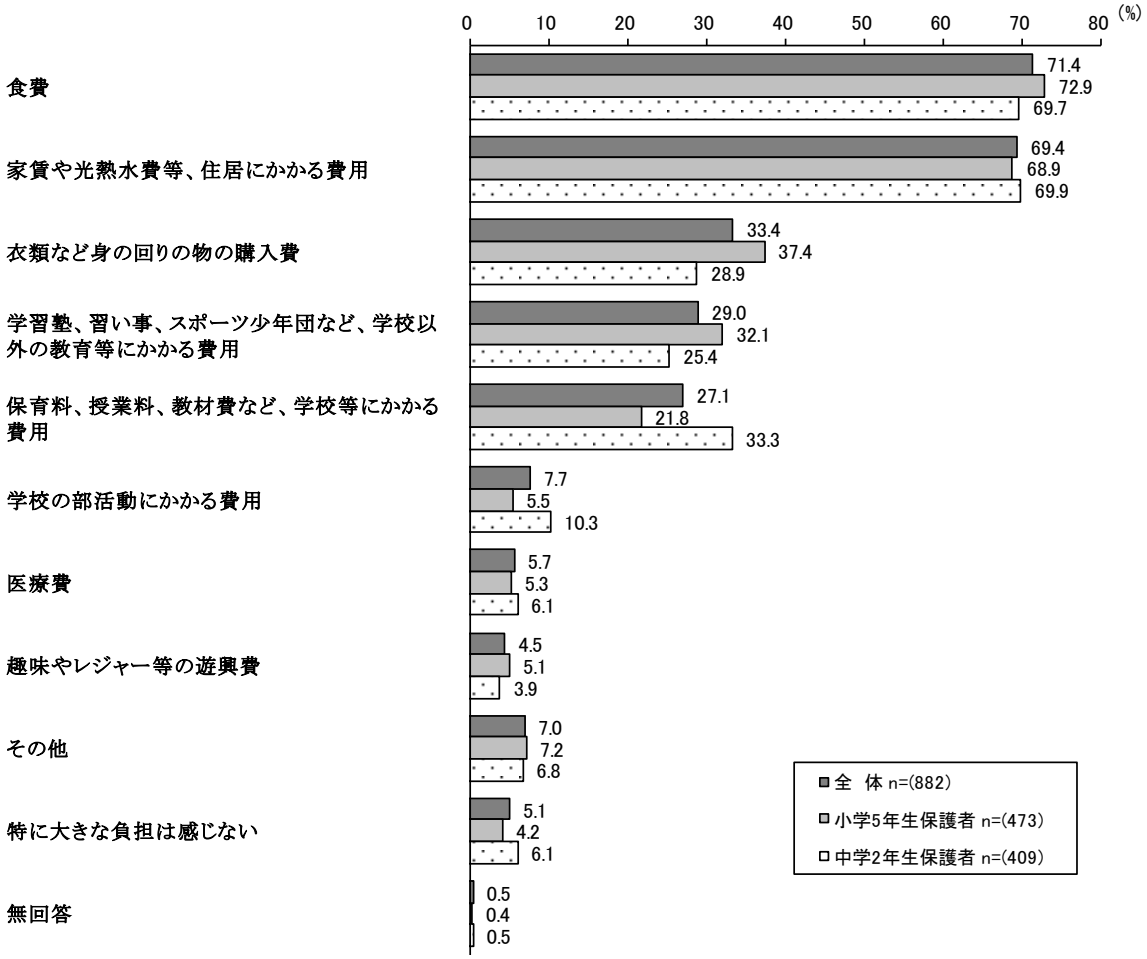
集計区分別にみると、Ａ世帯では《苦しい》が 70.7%と、Ｂ世帯（41.1%）を 29.6 ポイント上回っています。

（２）家計の支出の中で負担が大きいもの

問 14　家計の支出の中で、負担が大きいと感じるものは何ですか。

（あてはまるもの３つに○）

※４つ以上も有効として集計



家計の支出の中で負担が大きいものについて、全体では「食費」が 71.4%、「家賃や光熱水費等、住居にかかる費用」(69.4%)がともに多く、以下「衣類など身の回りの物の購入費」(33.4%)、「学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用」(29.0%)、「保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用」(27.1%)となっています。小学５年生保護者では「衣類など身の回りの物の購入費」が 37.4%と、中学２年生保護者（28.9%）を 8.5 ポイント上回り、中学２年生保護者では「保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用」が 33.3%と、小学５年生保護者（21.8%）を 11.5 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／家計の支出の中で負担が大きいもの／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	食費	家賃や光熱水費等、住居にかかる費用	衣類など身の回りの物の購入費	学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等にかかる費用	保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用	学校の部活動にかかる費用	医療費	趣味やレジャー等の遊興費	その他	特に大きな負担は感じない	無回答
全　体	882	630	612	295	256	239	68	50	40	62	45	4
	100.0	71.4	69.4	33.4	29.0	27.1	7.7	5.7	4.5	7.0	5.1	0.5
世帯タイプ（３区分）												
ひとり親世帯	108	74	59	47	28	36	13	1	6	5	6	2
	100.0	68.5	54.6	43.5	25.9	33.3	12.0	0.9	5.6	4.6	5.6	1.9
ふたり親世帯	750	537	538	241	226	197	54	47	34	53	37	2
	100.0	71.6	71.7	32.1	30.1	26.3	7.2	6.3	4.5	7.1	4.9	0.3
世帯タイプの把握が困難	24	19	15	7	2	6	1	2	－	4	2	－
	100.0	79.2	62.5	29.2	8.3	25.0	4.2	8.3	－	16.7	8.3	－
世帯タイプ（５区分）												
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	52	41	35	16	25	7	1	3	4	2	－
	100.0	74.3	58.6	50.0	22.9	35.7	10.0	1.4	4.3	5.7	2.9	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	22	18	12	12	11	6	－	3	1	4	2
	100.0	57.9	47.4	31.6	31.6	28.9	15.8	－	7.9	2.6	10.5	5.3
ふたり親世帯（共働き）	685	493	490	220	211	183	51	41	31	50	31	1
	100.0	72.0	71.5	32.1	30.8	26.7	7.4	6.0	4.5	7.3	4.5	0.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	44	48	21	15	14	3	6	3	3	6	1
	100.0	67.7	73.8	32.3	23.1	21.5	4.6	9.2	4.6	4.6	9.2	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	19	15	7	2	6	1	2	－	4	2	－
	100.0	79.2	62.5	29.2	8.3	25.0	4.2	8.3	－	16.7	8.3	－
集計区分												
Ａ世帯	143	118	93	67	30	48	19	6	6	8	－	1
	100.0	82.5	65.0	46.9	21.0	33.6	13.3	4.2	4.2	5.6	－	0.7
Ｂ世帯	685	473	481	207	209	174	45	42	32	51	43	2
	100.0	69.1	70.2	30.2	30.5	25.4	6.6	6.1	4.7	7.4	6.3	0.3

世帯タイプ(３区分)別にみると、ひとり親世帯では「衣類など身の回りの物の購入費」(43.5%)で 11.4 ポイント、「保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用」（33.3%）で 7.0 ポイント、「学校の部活動にかかる費用」（12.0%）で 4.8 ポイント、ふたり親世帯を上回り、「家賃や光熱水費等、住居にかかる費用」（54.6%）で 17.1 ポイント、ふたり親世帯（71.7%）を下回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「食費」（82.5%）で 13.4 ポイント、「衣類など身の回りの物の購入費」（46.9%）で 16.7 ポイント、「保育料、授業料、教材費など、学校等にかかる費用」（33.6%）で 8.2 ポイント、「学校の部活動にかかる費用」（13.3%）で 6.7 ポイント、Ｂ世帯を上回っています。

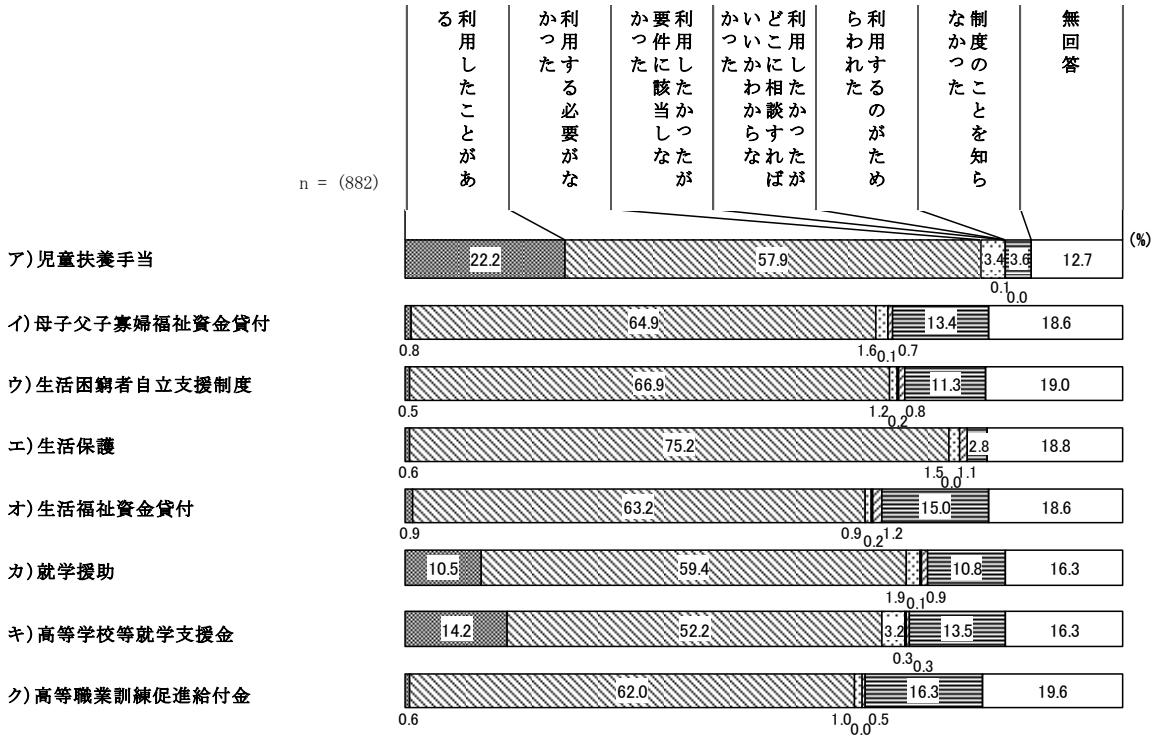
５．子育て支援について

（１）公的支援制度の利用経験

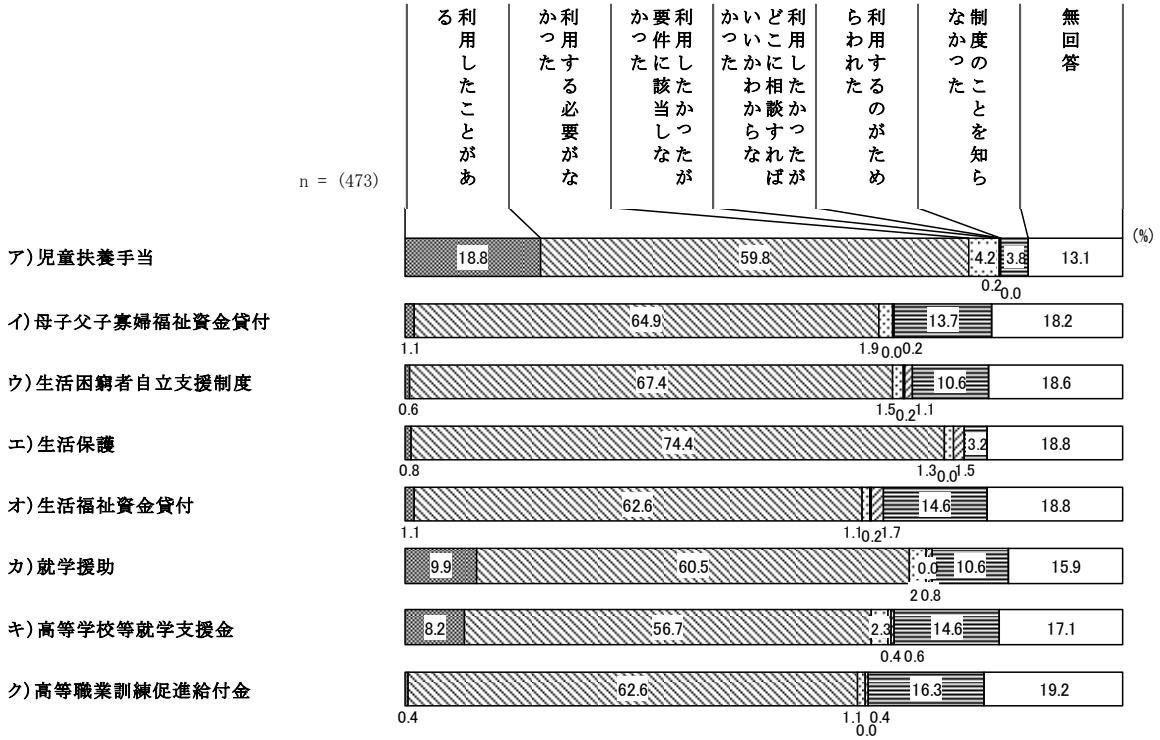
問 15　あなたの世帯では、以下の公的支援制度を利用したことがありますか。

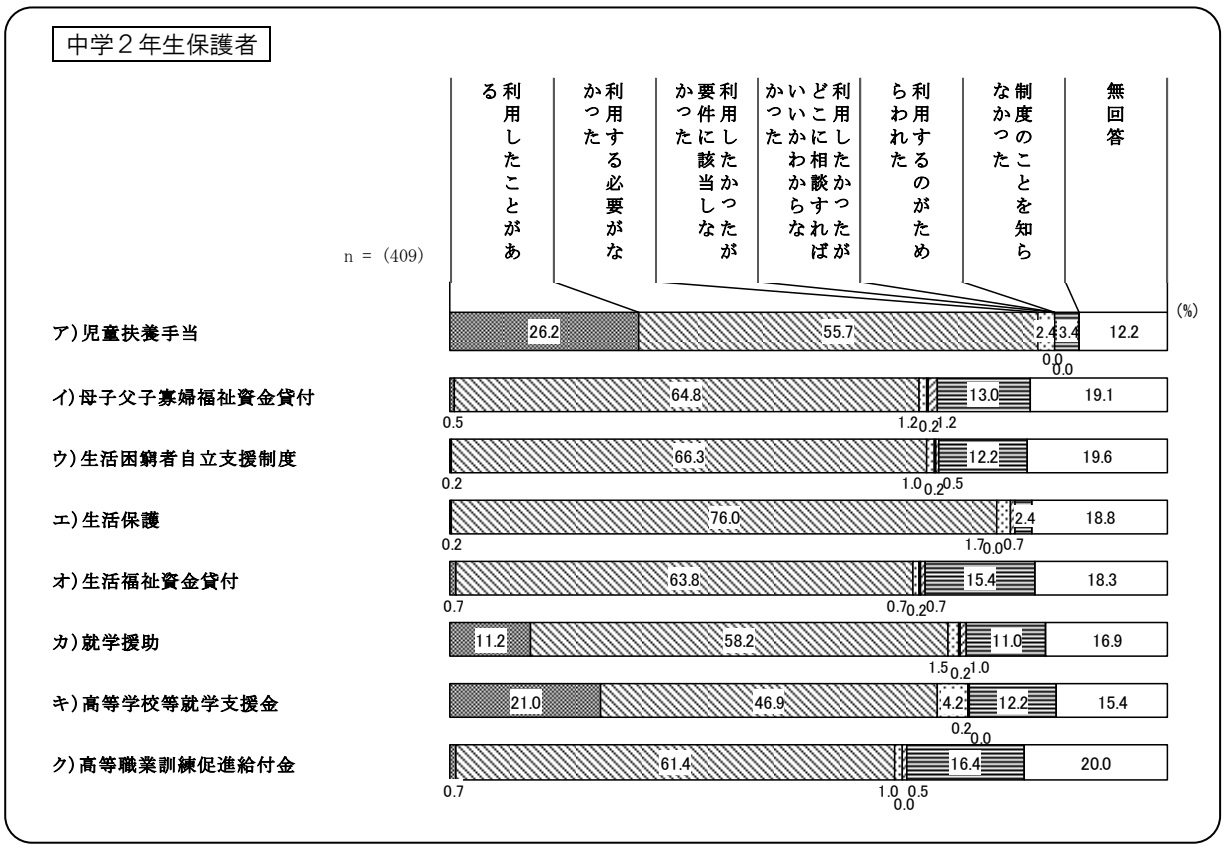
（ア～クそれぞれについて、あてはまるもの１つに○）

全体



小学５年生保護者





公的支援制度の利用経験について、全体では、すべての項目で「利用する必要がなかった」が過半数を占めています。「利用したことがある」は『ア）児童扶養手当』（22.2%）、『キ）高等学校等就学支援金』（14.2%）、『カ）就学援助』（10.5%）で１割以上と、他の項目に比べて多くなっています。「制度のことを知らなかった」は『ア）児童扶養手当』（3.6%）、『エ）生活保護』（2.8%）を除くすべての項目で１割台となっています。

中学２年生保護者では「利用したことがある」が『キ）高等学校等就学支援金』で 21.0%と、小学５年生保護者（8.2%）を 12.8 ポイント上回っています。

【世帯タイプ（３区分）別／公的支援制度の利用経験／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	882	196	511	30	1	－	32	112
	100.0	22.2	57.9	3.4	0.1	－	3.6	12.7
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	882	7	572	14	1	6	118	164
	100.0	0.8	64.9	1.6	0.1	0.7	13.4	18.6
ウ）生活困窮者自立支援制度	882	4	590	11	2	7	100	168
	100.0	0.5	66.9	1.2	0.2	0.8	11.3	19.0
エ）生活保護	882	5	663	13	－	10	25	166
	100.0	0.6	75.2	1.5	－	1.1	2.8	18.8
オ）生活福祉資金貸付	882	8	557	8	2	11	132	164
	100.0	0.9	63.2	0.9	0.2	1.2	15.0	18.6
カ）就学援助	882	93	524	17	1	8	95	144
	100.0	10.5	59.4	1.9	0.1	0.9	10.8	16.3
キ）高等学校等就学支援金	882	125	460	28	3	3	119	144
	100.0	14.2	52.2	3.2	0.3	0.3	13.5	16.3
ク）高等職業訓練促進給付金	882	5	547	9	－	4	144	173
	100.0	0.6	62.0	1.0	－	0.5	16.3	19.6

【世帯タイプ（３区分）別／公的支援制度の利用経験／ひとり親世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	108	79	4	16	1	－	1	7
	100.0	73.1	3.7	14.8	0.9	－	0.9	6.5
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	108	5	32	2	1	6	29	33
	100.0	4.6	29.6	1.9	0.9	5.6	26.9	30.6
ウ）生活困窮者自立支援制度	108	2	39	1	1	4	23	38
	100.0	1.9	36.1	0.9	0.9	3.7	21.3	35.2
エ）生活保護	108	4	54	2	－	7	5	36
	100.0	3.7	50.0	1.9	－	6.5	4.6	33.3
オ）生活福祉資金貸付	108	5	38	－	1	3	28	33
	100.0	4.6	35.2	－	0.9	2.8	25.9	30.6
カ）就学援助	108	56	19	1	－	2	7	23
	100.0	51.9	17.6	0.9	－	1.9	6.5	21.3
キ）高等学校等就学支援金	108	15	33	1	－	1	29	29
	100.0	13.9	30.6	0.9	－	0.9	26.9	26.9
ク）高等職業訓練促進給付金	108	2	35	1	－	4	30	36
	100.0	1.9	32.4	0.9	－	3.7	27.8	33.3

【世帯タイプ（３区分）別／公的支援制度の利用経験／ふたり親世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	750	112	498	13	－	－	31	96
	100.0	14.9	66.4	1.7	－	－	4.1	12.8
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	750	2	529	11	－	－	88	120
	100.0	0.3	70.5	1.5	－	－	11.7	16.0
ウ）生活困窮者自立支援制度	750	1	539	10	1	3	76	120
	100.0	0.1	71.9	1.3	0.1	0.4	10.1	16.0
エ）生活保護	750	－	597	11	－	3	20	119
	100.0	－	79.6	1.5	－	0.4	2.7	15.9
オ）生活福祉資金貸付	750	2	509	8	1	8	103	119
	100.0	0.3	67.9	1.1	0.1	1.1	13.7	15.9
カ）就学援助	750	34	495	15	1	6	88	111
	100.0	4.5	66.0	2.0	0.1	0.8	11.7	14.8
キ）高等学校等就学支援金	750	107	420	27	3	2	88	103
	100.0	14.3	56.0	3.6	0.4	0.3	11.7	13.7
ク）高等職業訓練促進給付金	750	3	502	8	－	－	112	125
	100.0	0.4	66.9	1.1	－	－	14.9	16.7

【世帯タイプ（３区分）別／公的支援制度の利用経験／世帯タイプの把握が困難】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	24	5	9	1	－	－	－	9
	100.0	20.8	37.5	4.2	－	－	－	37.5
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	24	－	11	1	－	－	1	11
	100.0	－	45.8	4.2	－	－	4.2	45.8
ウ）生活困窮者自立支援制度	24	1	12	－	－	－	1	10
	100.0	4.2	50.0	－	－	－	4.2	41.7
エ）生活保護	24	1	12	－	－	－	－	11
	100.0	4.2	50.0	－	－	－	－	45.8
オ）生活福祉資金貸付	24	1	10	－	－	－	1	12
	100.0	4.2	41.7	－	－	－	4.2	50.0
カ）就学援助	24	3	10	1	－	－	－	10
	100.0	12.5	41.7	4.2	－	－	－	41.7
キ）高等学校等就学支援金	24	3	7	－	－	－	2	12
	100.0	12.5	29.2	－	－	－	8.3	50.0
ク）高等職業訓練促進給付金	24	－	10	－	－	－	2	12
	100.0	－	41.7	－	－	－	8.3	50.0

【世帯タイプ（５区分）別／公的支援制度の利用経験／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	882	196	511	30	1	－	32	112
	100.0	22.2	57.9	3.4	0.1	－	3.6	12.7
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	882	7	572	14	1	6	118	164
	100.0	0.8	64.9	1.6	0.1	0.7	13.4	18.6
ウ）生活困窮者自立支援制度	882	4	590	11	2	7	100	168
	100.0	0.5	66.9	1.2	0.2	0.8	11.3	19.0
エ）生活保護	882	5	663	13	－	10	25	166
	100.0	0.6	75.2	1.5	－	1.1	2.8	18.8
オ）生活福祉資金貸付	882	8	557	8	2	11	132	164
	100.0	0.9	63.2	0.9	0.2	1.2	15.0	18.6
カ）就学援助	882	93	524	17	1	8	95	144
	100.0	10.5	59.4	1.9	0.1	0.9	10.8	16.3
キ）高等学校等就学支援金	882	125	460	28	3	3	119	144
	100.0	14.2	52.2	3.2	0.3	0.3	13.5	16.3
ク）高等職業訓練促進給付金	882	5	547	9	－	4	144	173
	100.0	0.6	62.0	1.0	－	0.5	16.3	19.6

【世帯タイプ（５区分）別／公的支援制度の利用経験／ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	70	56	1	10	－	－	1	2
	100.0	80.0	1.4	14.3	－	－	1.4	2.9
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	70	4	19	－	1	5	19	22
	100.0	5.7	27.1	－	1.4	7.1	27.1	31.4
ウ）生活困窮者自立支援制度	70	2	22	1	1	2	16	26
	100.0	2.9	31.4	1.4	1.4	2.9	22.9	37.1
エ）生活保護	70	4	31	2	－	5	4	24
	100.0	5.7	44.3	2.9	－	7.1	5.7	34.3
オ）生活福祉資金貸付	70	3	21	－	1	3	18	24
	100.0	4.3	30.0	－	1.4	4.3	25.7	34.3
カ）就学援助	70	36	11	－	－	1	7	15
	100.0	51.4	15.7	－	－	1.4	10.0	21.4
キ）高等学校等就学支援金	70	11	19	－	－	1	19	20
	100.0	15.7	27.1	－	－	1.4	27.1	28.6
ク）高等職業訓練促進給付金	70	2	22	1	－	1	19	25
	100.0	2.9	31.4	1.4	－	1.4	27.1	35.7

【世帯タイプ（５区分）別／公的支援制度の利用経験／ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	38	23	3	6	1	－	－	5
	100.0	60.5	7.9	15.8	2.6	－	－	13.2
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	38	1	13	2	－	1	10	11
	100.0	2.6	34.2	5.3	－	2.6	26.3	28.9
ウ）生活困窮者自立支援制度	38	－	17	－	－	2	7	12
	100.0	－	44.7	－	－	5.3	18.4	31.6
エ）生活保護	38	－	23	－	－	2	1	12
	100.0	－	60.5	－	－	5.3	2.6	31.6
オ）生活福祉資金貸付	38	2	17	－	－	－	10	9
	100.0	5.3	44.7	－	－	－	26.3	23.7
カ）就学援助	38	20	8	1	－	1	－	8
	100.0	52.6	21.1	2.6	－	2.6	－	21.1
キ）高等学校等就学支援金	38	4	14	1	－	－	10	9
	100.0	10.5	36.8	2.6	－	－	26.3	23.7
ク）高等職業訓練促進給付金	38	－	13	－	－	3	11	11
	100.0	－	34.2	－	－	7.9	28.9	28.9

【世帯タイプ（５区分）別／公的支援制度の利用経験／ふたり親世帯（共働き）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	685	99	458	11	－	－	28	89
	100.0	14.5	66.9	1.6	－	－	4.1	13.0
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	685	2	487	10	－	－	76	110
	100.0	0.3	71.1	1.5	－	－	11.1	16.1
ウ）生活困窮者自立支援制度	685	1	495	9	1	3	66	110
	100.0	0.1	72.3	1.3	0.1	0.4	9.6	16.1
エ）生活保護	685	－	546	10	－	3	17	109
	100.0	－	79.7	1.5	－	0.4	2.5	15.9
オ）生活福祉資金貸付	685	2	469	7	1	8	89	109
	100.0	0.3	68.5	1.0	0.1	1.2	13.0	15.9
カ）就学援助	685	28	458	14	1	6	73	105
	100.0	4.1	66.9	2.0	0.1	0.9	10.7	15.3
キ）高等学校等就学支援金	685	96	387	26	3	2	76	95
	100.0	14.0	56.5	3.8	0.4	0.3	11.1	13.9
ク）高等職業訓練促進給付金	685	2	461	8	－	－	100	114
	100.0	0.3	67.3	1.2	－	－	14.6	16.6

【世帯タイプ（５区分）別／公的支援制度の利用経験／ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	65	13	40	2	－	－	3	7
	100.0	20.0	61.5	3.1	－	－	4.6	10.8
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	65	－	42	1	－	－	12	10
	100.0	－	64.6	1.5	－	－	18.5	15.4
ウ）生活困窮者自立支援制度	65	－	44	1	－	－	10	10
	100.0	－	67.7	1.5	－	－	15.4	15.4
エ）生活保護	65	－	51	1	－	－	3	10
	100.0	－	78.5	1.5	－	－	4.6	15.4
オ）生活福祉資金貸付	65	－	40	1	－	－	14	10
	100.0	－	61.5	1.5	－	－	21.5	15.4
カ）就学援助	65	6	37	1	－	－	15	6
	100.0	9.2	56.9	1.5	－	－	23.1	9.2
キ）高等学校等就学支援金	65	11	33	1	－	－	12	8
	100.0	16.9	50.8	1.5	－	－	18.5	12.3
ク）高等職業訓練促進給付金	65	1	41	－	－	－	12	11
	100.0	1.5	63.1	－	－	－	18.5	16.9

【世帯タイプ（５区分）別／公的支援制度の利用経験／世帯タイプの把握が困難】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	24	5	9	1	－	－	－	9
	100.0	20.8	37.5	4.2	－	－	－	37.5
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	24	－	11	1	－	－	1	11
	100.0	－	45.8	4.2	－	－	4.2	45.8
ウ）生活困窮者自立支援制度	24	1	12	－	－	－	1	10
	100.0	4.2	50.0	－	－	－	4.2	41.7
エ）生活保護	24	1	12	－	－	－	－	11
	100.0	4.2	50.0	－	－	－	－	45.8
オ）生活福祉資金貸付	24	1	10	－	－	－	1	12
	100.0	4.2	41.7	－	－	－	4.2	50.0
カ）就学援助	24	3	10	1	－	－	－	10
	100.0	12.5	41.7	4.2	－	－	－	41.7
キ）高等学校等就学支援金	24	3	7	－	－	－	2	12
	100.0	12.5	29.2	－	－	－	8.3	50.0
ク）高等職業訓練促進給付金	24	－	10	－	－	－	2	12
	100.0	－	41.7	－	－	－	8.3	50.0

【集計区分別／公的支援制度の利用経験／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	882	196	511	30	1	－	32	112
	100.0	22.2	57.9	3.4	0.1	－	3.6	12.7
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	882	7	572	14	1	6	118	164
	100.0	0.8	64.9	1.6	0.1	0.7	13.4	18.6
ウ）生活困窮者自立支援制度	882	4	590	11	2	7	100	168
	100.0	0.5	66.9	1.2	0.2	0.8	11.3	19.0
エ）生活保護	882	5	663	13	－	10	25	166
	100.0	0.6	75.2	1.5	－	1.1	2.8	18.8
オ）生活福祉資金貸付	882	8	557	8	2	11	132	164
	100.0	0.9	63.2	0.9	0.2	1.2	15.0	18.6
カ）就学援助	882	93	524	17	1	8	95	144
	100.0	10.5	59.4	1.9	0.1	0.9	10.8	16.3
キ）高等学校等就学支援金	882	125	460	28	3	3	119	144
	100.0	14.2	52.2	3.2	0.3	0.3	13.5	16.3
ク）高等職業訓練促進給付金	882	5	547	9	－	4	144	173
	100.0	0.6	62.0	1.0	－	0.5	16.3	19.6

【集計区分別／公的支援制度の利用経験／Ａ世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	143	65	48	5	1	－	5	19
	100.0	45.5	33.6	3.5	0.7	－	3.5	13.3
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	143	3	64	1	－	4	31	40
	100.0	2.1	44.8	0.7	－	2.8	21.7	28.0
ウ）生活困窮者自立支援制度	143	1	69	－	1	5	24	43
	100.0	0.7	48.3	－	0.7	3.5	16.8	30.1
エ）生活保護	143	4	83	2	－	5	6	43
	100.0	2.8	58.0	1.4	－	3.5	4.2	30.1
オ）生活福祉資金貸付	143	5	60	－	1	4	33	40
	100.0	3.5	42.0	－	0.7	2.8	23.1	28.0
カ）就学援助	143	52	45	1	－	2	15	28
	100.0	36.4	31.5	0.7	－	1.4	10.5	19.6
キ）高等学校等就学支援金	143	29	46	－	－	1	30	37
	100.0	20.3	32.2	－	－	0.7	21.0	25.9
ク）高等職業訓練促進給付金	143	3	62	－	－	4	30	44
	100.0	2.1	43.4	－	－	2.8	21.0	30.8

【集計区分別／公的支援制度の利用経験／Ｂ世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	利用したことがある	利用する必要がなかった	利用したかったが要件に該当しなかった	利用したかったがどこに相談すればいいかわからなかった	利用するのがためらわれた	制度のことを知らなかった	無回答
ア）児童扶養手当	685	122	434	24	－	－	21	84
	100.0	17.8	63.4	3.5	－	－	3.1	12.3
イ）母子父子寡婦福祉資金貸付	685	3	478	13	－	2	75	114
	100.0	0.4	69.8	1.9	－	0.3	10.9	16.6
ウ）生活困窮者自立支援制度	685	3	489	11	1	2	65	114
	100.0	0.4	71.4	1.6	0.1	0.3	9.5	16.6
エ）生活保護	685	－	541	11	－	4	16	113
	100.0	－	79.0	1.6	－	0.6	2.3	16.5
オ）生活福祉資金貸付	685	3	469	8	－	7	85	113
	100.0	0.4	68.5	1.2	－	1.0	12.4	16.5
カ）就学援助	685	36	450	14	1	5	73	106
	100.0	5.3	65.7	2.0	0.1	0.7	10.7	15.5
キ）高等学校等就学支援金	685	88	391	25	3	2	80	96
	100.0	12.8	57.1	3.6	0.4	0.3	11.7	14.0
ク）高等職業訓練促進給付金	685	2	462	8	－	－	96	117
	100.0	0.3	67.4	1.2	－	－	14.0	17.1

世帯タイプ（３区分）別にみると、「利用したことがある」は『キ）高等学校等就学支援金』を除くすべての項目でひとり親世帯がふたり親世帯を上回り、特に『ア）児童扶養手当』（73.1%）、『カ）就学援助』（51.9%）でふたり親世帯を大きく上回っています。「制度のことを知らなかった」は『ア）児童扶養手当』を除くすべての項目でひとり親世帯がふたり親世帯を上回り、特に『ク）高等職業訓練促進給付金』（27.8%）、『イ）母子父子寡婦福祉資金貸付』、『キ）高等学校等就学支援金』（ともに 26.9%）、『オ）生活福祉資金貸付』（25.9%）、『ウ）生活困窮者自立支援制度』（21.3%）で２割台と、ふたり親世帯を大きく上回っています。

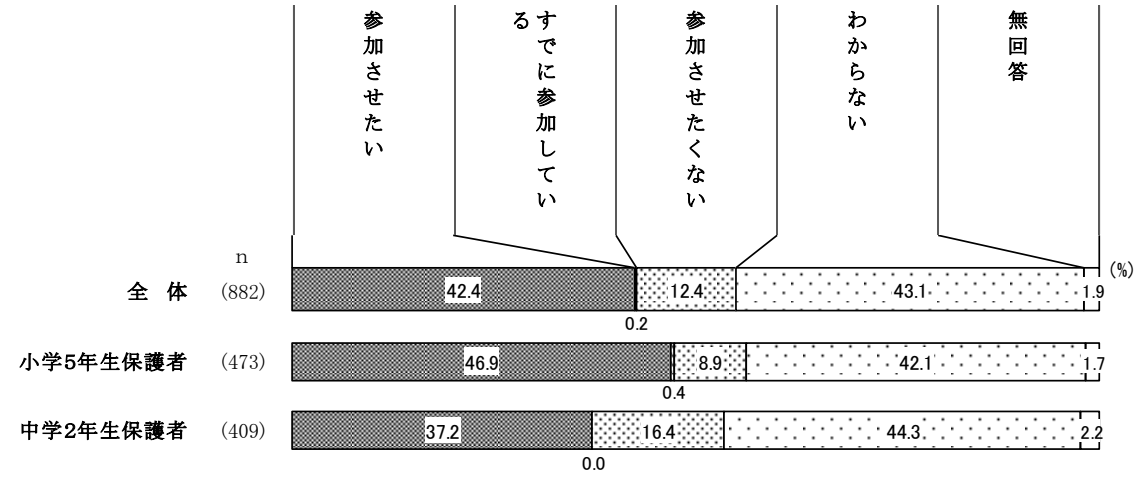
集計区分別にみると、「利用したことがある」はすべての項目でＡ世帯がＢ世帯を上回り、特に『ア）児童扶養手当』（45.5%）、『カ）就学援助』（36.4%）、『キ）高等学校等就学支援金』（20.3%）でＢ世帯を大きく上回っています。「制度のことを知らなかった」は『カ）就学援助』を除くすべての項目でＡ世帯がＢ世帯を上回り、特に『オ）生活福祉資金貸付』（23.1%）、『イ）母子父子寡婦福祉資金貸付』（21.7%）、『キ）高等学校等就学支援金』、『ク）高等職業訓練促進給付金』（ともに 21.0%）で２割台と、Ｂ世帯を 7.0 ポイント以上上回っています。

公的支援制度を必要とする人が多いと推察されるひとり親世帯やＡ世帯で公的支援制度の認知度が低くなっていることから、周知を図る必要があります。

かねたん

（2）学習支援に参加させたい意向の有無

問 16　近年、自治体から委託を受けた団体や学生ボランティア等が無料又は低額で子どもの学習をサポートする「学習支援」が広がりを見せていますが、そうした場所にお子さんを参加させたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）



学習支援に参加させたい意向の有無について、全体では「参加させたい」が 42.4%、「すでに参加している」が 0.2%、「参加させたくない」が 12.4%、「わからない」が 43.1%となっています。なお、「参加させたい」は 374 人、「すでに参加している」は２人となっています。小学５年生保護者では「参加させたい」が 46.9%と、中学２年生保護者（37.2%）を 9.7 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／学習支援に参加させたい意向の有無／全体】

（上段：件　下段：％）

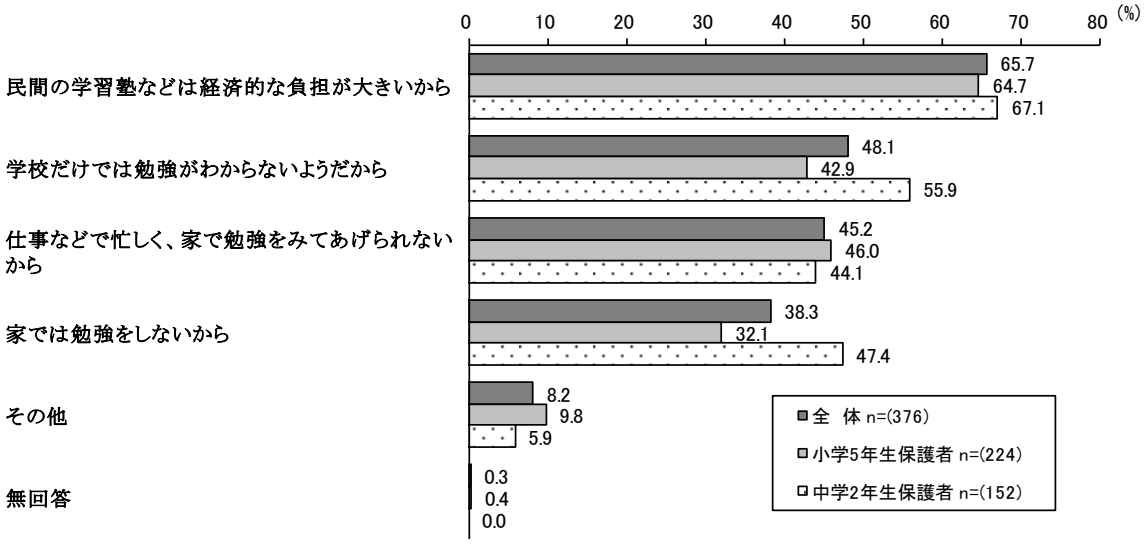
	調査数	参加させたい	すでに参加している	参加させたくない	わからない	無回答
全　体	882	374	2	109	380	17
	100.0	42.4	0.2	12.4	43.1	1.9
世帯タイプ（３区分）						
ひとり親世帯	108	50	1	10	41	6
	100.0	46.3	0.9	9.3	38.0	5.6
ふたり親世帯	750	316	1	94	330	9
	100.0	42.1	0.1	12.5	44.0	1.2
世帯タイプの把握が困難	24	8	－	5	9	2
	100.0	33.3	－	20.8	37.5	8.3
世帯タイプ（５区分）						
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	36	1	7	23	3
	100.0	51.4	1.4	10.0	32.9	4.3
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	14	－	3	18	3
	100.0	36.8	－	7.9	47.4	7.9
ふたり親世帯（共働き）	685	294	1	85	296	9
	100.0	42.9	0.1	12.4	43.2	1.3
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	22	－	9	34	－
	100.0	33.8	－	13.8	52.3	－
世帯タイプの把握が困難	24	8	－	5	9	2
	100.0	33.3	－	20.8	37.5	8.3
集計区分						
Ａ世帯	143	76	1	11	53	2
	100.0	53.1	0.7	7.7	37.1	1.4
Ｂ世帯	685	284	1	92	295	13
	100.0	41.5	0.1	13.4	43.1	1.9

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「参加させたい」が 46.3%、「すでに参加している」が 0.9%、「参加させたくない」が 9.3%となっています。ふたり親世帯では「参加させたい」が 42.1%、「すでに参加している」が 0.1%、「参加させたくない」が 12.5%となっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「参加させたい」が 53.1%、「すでに参加している」が 0.7%、「参加させたくない」が 7.7%となっています。Ｂ世帯では「参加させたい」が 41.5%、「すでに参加している」が 0.1%、「参加させたくない」が 13.4%となっています。Ａ世帯では「参加させたい」がＢ世帯を 11.6 ポイント上回っています。

（3）学習支援に参加させたい・参加している理由

問 17　問 16 で「参加させたい」「すでに参加している」を選んだ人にお聞きします。
参加させたい・参加している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



学習支援に参加させたい・参加している理由について、全体では「民間の学習塾などは経済的な負担が大きいから」が 65.7%と最も多く、以下「学校だけでは勉強がわからないようだから」（48.1%）、「仕事などで忙しく、家で勉強をみてあげられないから」（45.2%）、「家では勉強をしないから」（38.3%）となっています。中学２年生保護者では「学校だけでは勉強がわからないようだから」（55.9%）で 13.0 ポイント、「家では勉強をしないから」（47.4%）で 15.3 ポイント、小学５年生保護者を上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／学習支援に参加させたい・参加している理由／全体】

（上段：件　下段：%）

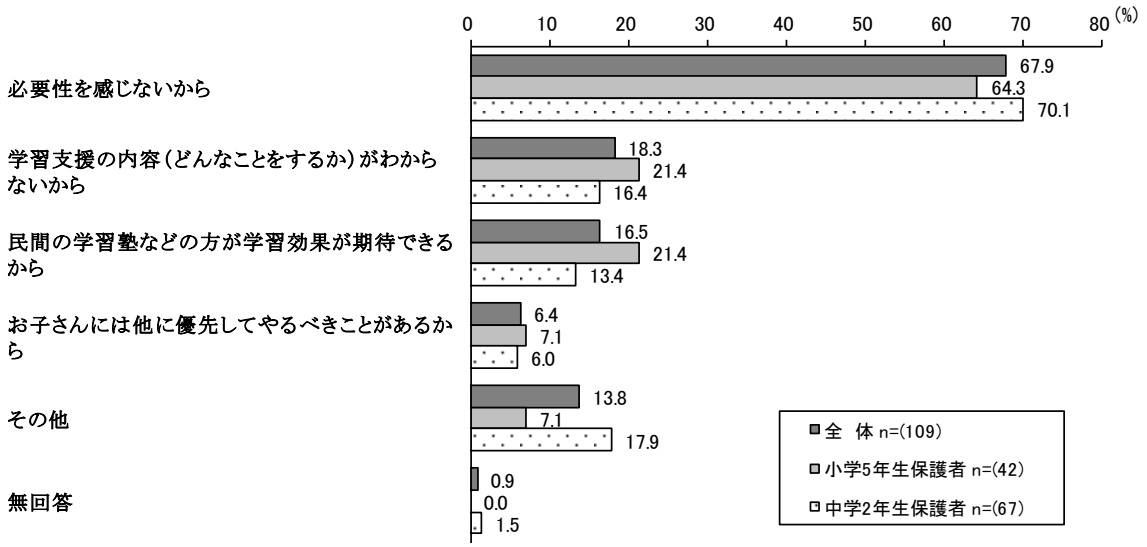
	調査数	民間の学習塾などは経済的な負担が大きいから	学校だけでは勉強がわからないようだから	仕事などで忙しく、家で勉強をみてあげられないから	家では勉強をしないから	その他	無回答
全　体	376	247	181	170	144	31	1
	100.0	65.7	48.1	45.2	38.3	8.2	0.3
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	51	34	24	28	21	1	－
	100.0	66.7	47.1	54.9	41.2	2.0	－
ふたり親世帯	317	206	153	138	119	30	1
	100.0	65.0	48.3	43.5	37.5	9.5	0.3
世帯タイプの把握が困難	8	7	4	4	4	－	－
	100.0	87.5	50.0	50.0	50.0	－	－
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	37	24	18	22	15	1	－
	100.0	64.9	48.6	59.5	40.5	2.7	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	14	10	6	6	6	－	－
	100.0	71.4	42.9	42.9	42.9	－	－
ふたり親世帯（共働き）	295	188	141	136	108	28	1
	100.0	63.7	47.8	46.1	36.6	9.5	0.3
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	22	18	12	2	11	2	－
	100.0	81.8	54.5	9.1	50.0	9.1	－
世帯タイプの把握が困難	8	7	4	4	4	－	－
	100.0	87.5	50.0	50.0	50.0	－	－
集計区分							
Ａ世帯	77	60	43	34	34	1	－
	100.0	77.9	55.8	44.2	44.2	1.3	－
Ｂ世帯	285	176	132	131	102	30	－
	100.0	61.8	46.3	46.0	35.8	10.5	－

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「仕事などで忙しく、家で勉強をみてあげられないから」が 54.9%と、ふたり親世帯（43.5%）を 11.4 ポイント上回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「民間の学習塾などは経済的な負担が大きいから」が 77.9%と、Ｂ世帯（61.8%）を 16.1 ポイント上回っています。

（4）学習支援に参加させたくない理由

問 18　問 16 で「参加させたくない」を選んだ人にお聞きします。
参加させたくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



学習支援に参加させたくない理由について、全体では「必要性を感じないから」が 67.9%と最も多く、以下「学習支援の内容（どんなことをするか）がわからないから」（18.3%）、「民間の学習塾などの方が学習効果が期待できるから」（16.5%）となっています。なお、「その他」は 13.8%となっており、その内容については、「本人が希望しないから」、「人と接することが苦手だから」などが挙げられています。小学５年生保護者では「学習支援の内容（どんなことをするか）がわからないから」、「民間の学習塾などの方が学習効果が期待できるから」がともに 21.4%と、中学２年生保護者を 5.0 ポイント以上上回っています。中学２年生保護者では「必要性を感じないから」が 70.1%と、小学５年生保護者（64.3%）を 5.8 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／学習支援に参加させたくない理由／全体】

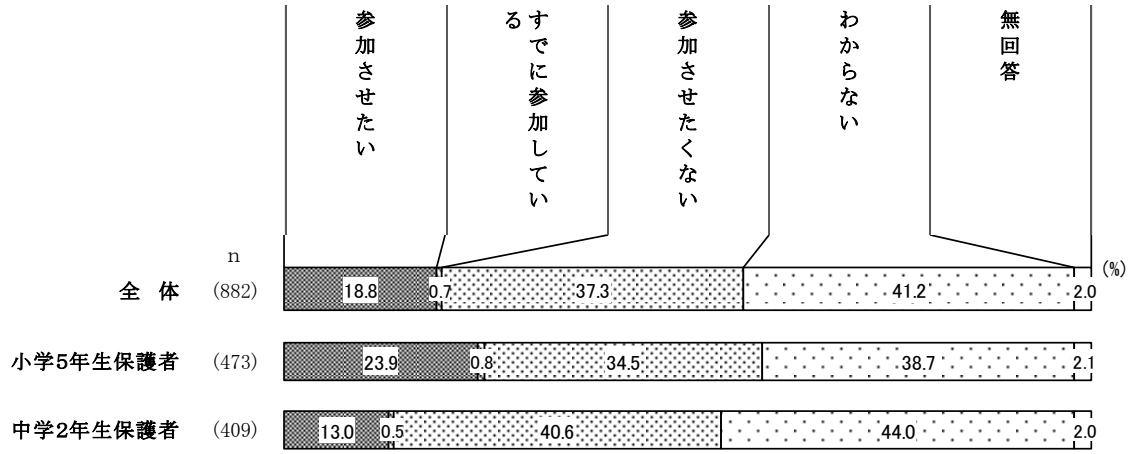
（上段：件　下段：％）

	調査数	必要性を感じないから	学習支援の内容（どんなことをするか）がわからないから	民間の学習塾などの方が学習効果が期待できるから	お子さんには他に優先してやるべきことがあるから	その他	無回答
全　体	109	74	20	18	7	15	1
	100.0	67.9	18.3	16.5	6.4	13.8	0.9
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	10	6	2	－	2	1	－
	100.0	60.0	20.0	－	20.0	10.0	－
ふたり親世帯	94	66	18	17	5	12	1
	100.0	70.2	19.1	18.1	5.3	12.8	1.1
世帯タイプの把握が困難	5	2	－	1	－	2	－
	100.0	40.0	－	20.0	－	40.0	－
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	7	3	2	－	2	1	－
	100.0	42.9	28.6	－	28.6	14.3	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	3	3	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
ふたり親世帯（共働き）	85	58	17	16	4	12	1
	100.0	68.2	20.0	18.8	4.7	14.1	1.2
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	9	8	1	1	1	－	－
	100.0	88.9	11.1	11.1	11.1	－	－
世帯タイプの把握が困難	5	2	－	1	－	2	－
	100.0	40.0	－	20.0	－	40.0	－
集計区分							
Ａ世帯	11	7	4	1	－	2	－
	100.0	63.6	36.4	9.1	－	18.2	－
Ｂ世帯	92	63	15	16	7	12	1
	100.0	68.5	16.3	17.4	7.6	13.0	1.1

世帯タイプ別・集計区分別については、基数が少ないため、クロス集計表の掲載のみに留めます。

（5）子ども食堂などに参加させたい意向の有無

問 19　近年、無料又は低額で食事を提供する「子ども食堂」の取組みが増えてきていますが、そうした場所にお子さんを参加させたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）



子ども食堂などに参加させたい意向の有無について、全体では「参加させたい」が 18.8%、「すでに参加している」が 0.7%、「参加させたくない」が 37.3%、「わからない」が 41.2%となっています。なお、「参加させたい」は 166 人、「すでに参加している」は 6 人となっています。小学５年生保護者では「参加させたい」が 23.9%と、中学２年生保護者（13.0%）を 10.9 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子ども食堂などに参加させたい意向の有無／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	参加させたい	すでに参加している	参加させたくない	わからない	無回答
全　体	882	166	6	329	363	18
	100.0	18.8	0.7	37.3	41.2	2.0
世帯タイプ（３区分）						
ひとり親世帯	108	24	2	36	39	7
	100.0	22.2	1.9	33.3	36.1	6.5
ふたり親世帯	750	138	4	282	317	9
	100.0	18.4	0.5	37.6	42.3	1.2
世帯タイプの把握が困難	24	4	－	11	7	2
	100.0	16.7	－	45.8	29.2	8.3
世帯タイプ（５区分）						
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	17	1	25	23	4
	100.0	24.3	1.4	35.7	32.9	5.7
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	7	1	11	16	3
	100.0	18.4	2.6	28.9	42.1	7.9
ふたり親世帯（共働き）	685	128	3	259	286	9
	100.0	18.7	0.4	37.8	41.8	1.3
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	10	1	23	31	－
	100.0	15.4	1.5	35.4	47.7	－
世帯タイプの把握が困難	24	4	－	11	7	2
	100.0	16.7	－	45.8	29.2	8.3
集計区分						
Ａ世帯	143	31	2	39	68	3
	100.0	21.7	1.4	27.3	47.6	2.1
Ｂ世帯	685	128	4	268	272	13
	100.0	18.7	0.6	39.1	39.7	1.9

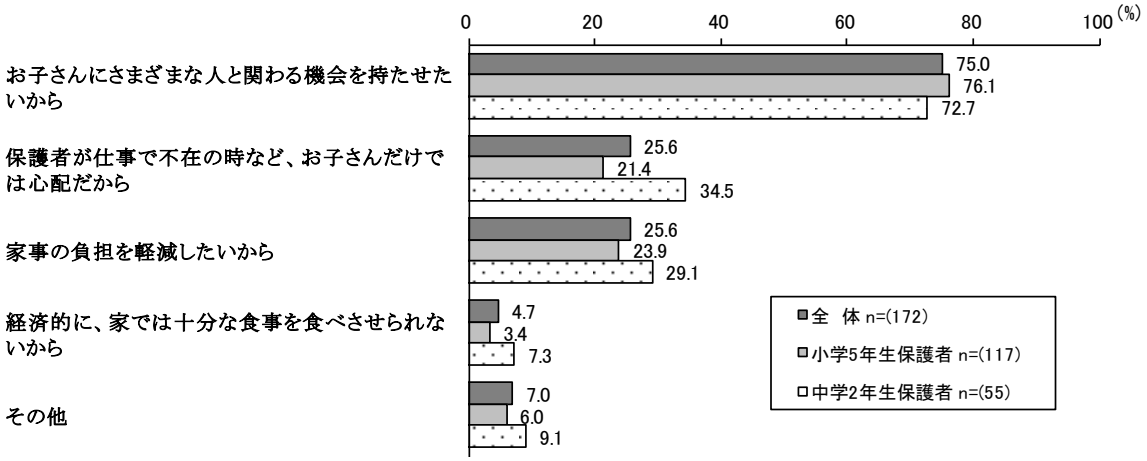
世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「参加させたい」が 22.2%、「すでに参加している」が 0.7%、「参加させたくない」が 33.3%となっています。ふたり親世帯では「参加させたい」が 18.4%、「すでに参加している」が 0.5%、「参加させたくない」が 37.6%となっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「参加させたい」が 21.7%、「すでに参加している」が 1.4%、「参加させたくない」が 27.3%となっています。Ｂ世帯では「参加させたい」が 18.7%、「すでに参加している」が 0.6%、「参加させたくない」が 39.1%となっています。

Ｂ世帯では「参加させたくない」が 39.1%と、Ａ世帯（27.3%）を 11.8 ポイント上回っています。

（6）子ども食堂などに参加させたい・参加している理由

問 20　問 19 で「参加させたい」「すでに参加している」を選んだ人にお聞きします。
参加させたい・参加している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



子ども食堂などに参加させたい・参加している理由について、全体では「お子さんにさまざまな人と関わる機会を持たせたいから」が 75.0%と最も多く、以下「保護者が仕事で不在の時など、お子さんだけでは心配だから」、「家事の負担を軽減したいから」（ともに 25.6%）となっています。中学２年生保護者では「保護者が仕事で不在の時など、お子さんだけでは心配だから」が 34.5%と、小学５年生保護者（21.4%）を 13.1 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子ども食堂などに参加させたい・参加している理由／全体】

（上段：件　下段：％）

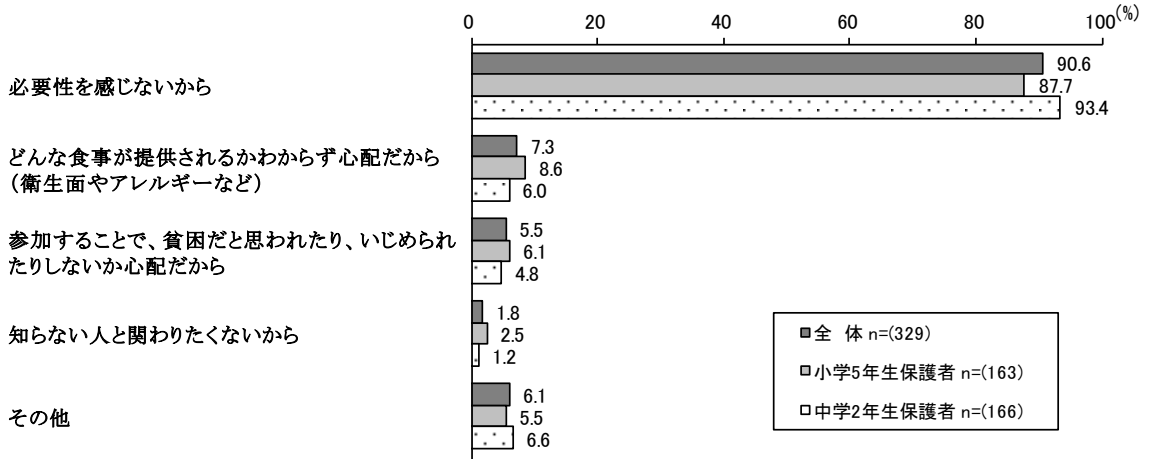
	調査数	お子さんにさまざまな人と関わる機会を持たせたいから	保護者が仕事で不在の時など、お子さんだけでは心配だから	家事の負担を軽減したいから	経済的に、家では十分な食事を食べさせられないから	その他
全　体	172	129	44	44	8	12
	100.0	75.0	25.6	25.6	4.7	7.0
世帯タイプ（３区分）						
ひとり親世帯	26	15	9	10	5	3
	100.0	57.7	34.6	38.5	19.2	11.5
ふたり親世帯	142	112	32	34	2	9
	100.0	78.9	22.5	23.9	1.4	6.3
世帯タイプの把握が困難	4	2	3	－	1	－
	100.0	50.0	75.0	－	25.0	－
世帯タイプ（５区分）						
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	18	10	6	8	5	2
	100.0	55.6	33.3	44.4	27.8	11.1
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	8	5	3	2	－	1
	100.0	62.5	37.5	25.0	－	12.5
ふたり親世帯（共働き）	131	102	31	30	1	9
	100.0	77.9	23.7	22.9	0.8	6.9
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	11	10	1	4	1	－
	100.0	90.9	9.1	36.4	9.1	－
世帯タイプの把握が困難	4	2	3	－	1	－
	100.0	50.0	75.0	－	25.0	－
集計区分						
Ａ世帯	33	24	10	10	4	2
	100.0	72.7	30.3	30.3	12.1	6.1
Ｂ世帯	132	99	32	32	3	10
	100.0	75.0	24.2	24.2	2.3	7.6

世帯タイプ（３区分）別にみると、「お子さんにさまざまな人と関わる機会を持たせたいから」がひとり親世帯（57.7%）、ふたり親世帯（78.9%）ともに最も多く、ふたり親世帯がひとり親世帯を 21.2 ポイント上回っています。ひとり親世帯では「家事の負担を軽減したいから」（38.5%）で 14.6 ポイント、「保護者が仕事で不在の時など、お子さんだけでは心配だから」（34.6%）で 12.1 ポイント、「経済的に、家では十分な食事を食べさせられないから」（19.2%）で 17.8 ポイント、ふたり親世帯を上回っています。

集計区分別にみると、「お子さんにさまざまな人と関わる機会を持たせたいから」がＡ世帯（72.7%）、Ｂ世帯（75.0%）ともに最も多くなっています。Ａ世帯では「経済的に、家では十分な食事を食べさせられないから」が 12.1%と、Ｂ世帯（2.3%）を 9.8 ポイント上回っています。

（7）子ども食堂などに参加させたくない理由

問 21　問 19 で「参加させたくない」を選んだ人にお聞きします。
参加させたくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



子ども食堂などに参加させたくない理由について、全体では「必要性を感じないから」が 90.6%と最も多く、以下「どんな食事が提供されるかわからず心配だから（衛生面やアレルギーなど）」（7.3%）、「参加することで、貧困だと思われたり、いじめられたりしないか心配だから」(5.5%)となっています。中学２年生保護者では「必要性を感じないから」が 93.4%と、小学５年生保護者（87.7%）を 5.7 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子ども食堂などに参加させたくない理由／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	必要性を感じないから	どんな食事が提供されるかわからず心配だから（衛生面やアレルギーなど）	参加することで、貧困だと思われたり、いじめられたりしないか心配だから	知らない人と関わりたくないから	その他
全　体	329	298	24	18	6	20
	100.0	90.6	7.3	5.5	1.8	6.1
世帯タイプ（３区分）						
ひとり親世帯	36	27	6	7	1	4
	100.0	75.0	16.7	19.4	2.8	11.1
ふたり親世帯	282	262	18	9	4	16
	100.0	92.9	6.4	3.2	1.4	5.7
世帯タイプの把握が困難	11	9	－	2	1	－
	100.0	81.8	－	18.2	9.1	－
世帯タイプ（５区分）						
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	25	17	5	6	1	4
	100.0	68.0	20.0	24.0	4.0	16.0
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	11	10	1	1	－	－
	100.0	90.9	9.1	9.1	－	－
ふたり親世帯（共働き）	259	240	16	9	4	15
	100.0	92.7	6.2	3.5	1.5	5.8
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	23	22	2	－	－	1
	100.0	95.7	8.7	－	－	4.3
世帯タイプの把握が困難	11	9	－	2	1	－
	100.0	81.8	－	18.2	9.1	－
集計区分						
Ａ世帯	39	32	3	8	2	1
	100.0	82.1	7.7	20.5	5.1	2.6
Ｂ世帯	268	249	18	8	3	16
	100.0	92.9	6.7	3.0	1.1	6.0

世帯タイプ（３区分）別にみると、「必要性を感じないから」がひとり親世帯（75.0%）、ふたり親世帯（92.9%）ともに最も多く、ふたり親世帯がひとり親世帯を 17.9 ポイント上回っています。以下、ひとり親世帯では「参加することで、貧困だと思われたり、いじめられたりしないか心配だから」（19.4%）で 16.2 ポイント、「どんな食事が提供されるかわからず心配だから（衛生面やアレルギーなど）」（16.7%）で 10.3 ポイント、ふたり親世帯を上回っています。

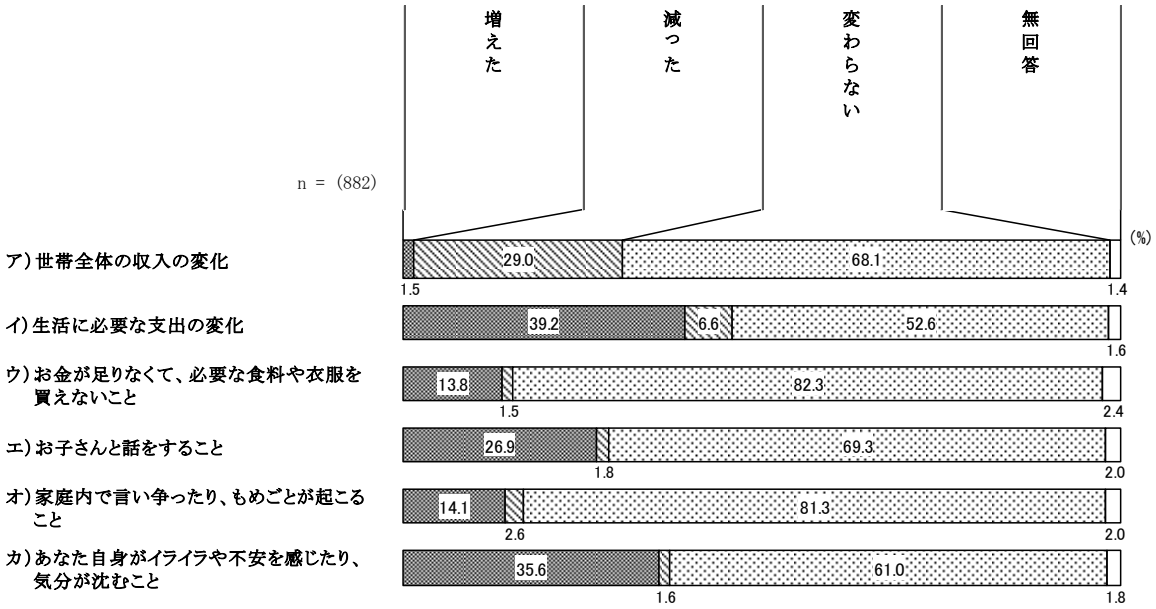
集計区分別にみると、「必要性を感じないから」がＡ世帯（82.1%）、Ｂ世帯（92.9%）ともに最も多くなっています。Ａ世帯では「参加することで、貧困だと思われたり、いじめられたりしないか心配だから」が 20.5%と、Ｂ世帯（3.0%）を 17.5 ポイント上回っています。

６．新型コロナウイルス感染症について

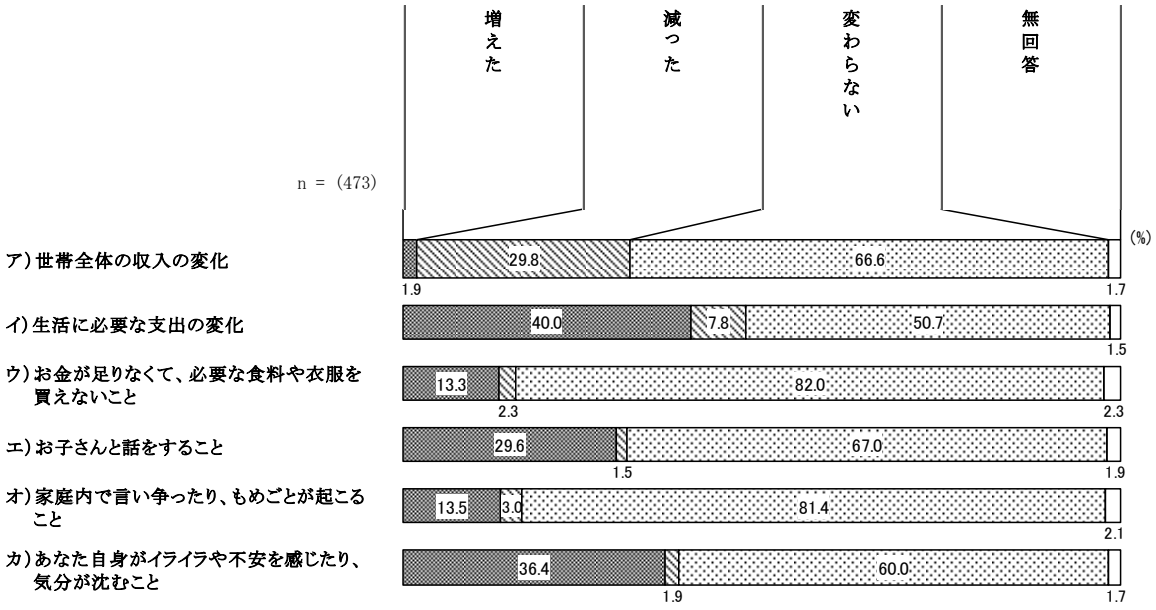
（１）新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化

問 22　あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前から比べて、どのように変わりましたか。（ア～カそれぞれについて、あてはまるもの１つに○）

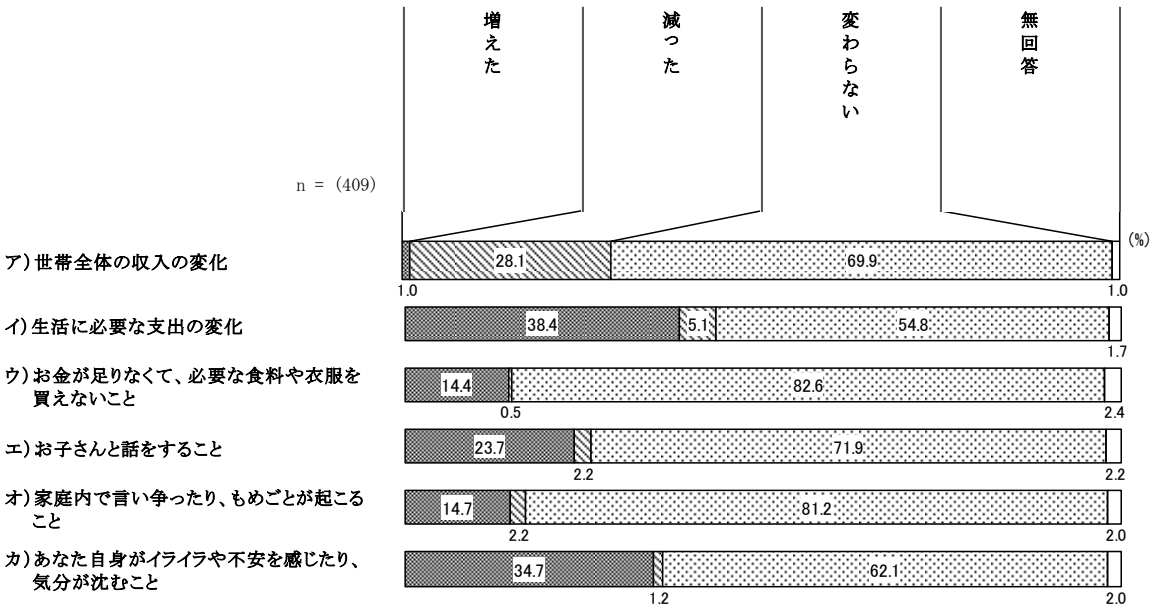
全体



小学５年生保護者



中学２年生保護者



新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化について、全体では『ア）～カ）』のすべての項目で「変わらない」が最も多く、いずれも過半数を占めています。変化があったとする回答について、『エ）お子さんと話をすること』では「増えた」が 26.9%と「減った」（1.8%）を 25.1 ポイント上回り、唯一プラス評価が多い項目となっています。それ以外の項目ではマイナス評価が多く、『ア）世帯全体の収入の変化』で「減った」が 29.0%、『イ）生活に必要な支出の変化』で「増えた」が 39.2%、『ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと』で「増えた」が 13.8%、『オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること』で「増えた」が 14.1%、『カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと』で「増えた」が 35.6%となっています。

小学５年生保護者では『エ）お子さんと話をすること』で「増えた」が 29.6%と、中学５年生保護者（23.7%）を 5.9 ポイント上回っています。

【世帯タイプ（３区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	882	13	256	601	12
	100.0	1.5	29.0	68.1	1.4
イ）生活に必要な支出の変化	882	346	58	464	14
	100.0	39.2	6.6	52.6	1.6
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	882	122	13	726	21
	100.0	13.8	1.5	82.3	2.4
エ）お子さんと話をすること	882	237	16	611	18
	100.0	26.9	1.8	69.3	2.0
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	882	124	23	717	18
	100.0	14.1	2.6	81.3	2.0
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	882	314	14	538	16
	100.0	35.6	1.6	61.0	1.8

【世帯タイプ（３区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／ひとり親世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	108	－	42	64	2
	100.0	－	38.9	59.3	1.9
イ）生活に必要な支出の変化	108	56	5	45	2
	100.0	51.9	4.6	41.7	1.9
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	108	27	1	78	2
	100.0	25.0	0.9	72.2	1.9
エ）お子さんと話をすること	108	25	5	74	4
	100.0	23.1	4.6	68.5	3.7
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	108	16	5	84	3
	100.0	14.8	4.6	77.8	2.8
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	108	44	3	60	1
	100.0	40.7	2.8	55.6	0.9

【世帯タイプ（３区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／ふたり親世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	750	13	204	523	10
	100.0	1.7	27.2	69.7	1.3
イ）生活に必要な支出の変化	750	278	51	410	11
	100.0	37.1	6.8	54.7	1.5
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	750	88	12	632	18
	100.0	11.7	1.6	84.3	2.4
エ）お子さんと話をすること	750	206	10	521	13
	100.0	27.5	1.3	69.5	1.7
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	750	102	18	616	14
	100.0	13.6	2.4	82.1	1.9
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	750	263	11	462	14
	100.0	35.1	1.5	61.6	1.9

【世帯タイプ（３区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／世帯タイプの把握が困難】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	24	－	10	14	－
	100.0	－	41.7	58.3	－
イ）生活に必要な支出の変化	24	12	2	9	1
	100.0	50.0	8.3	37.5	4.2
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	24	7	－	16	1
	100.0	29.2	－	66.7	4.2
エ）お子さんと話をすること	24	6	1	16	1
	100.0	25.0	4.2	66.7	4.2
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	24	6	－	17	1
	100.0	25.0	－	70.8	4.2
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	24	7	－	16	1
	100.0	29.2	－	66.7	4.2

【世帯タイプ（５区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	882	13	256	601	12
	100.0	1.5	29.0	68.1	1.4
イ）生活に必要な支出の変化	882	346	58	464	14
	100.0	39.2	6.6	52.6	1.6
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	882	122	13	726	21
	100.0	13.8	1.5	82.3	2.4
エ）お子さんと話をすること	882	237	16	611	18
	100.0	26.9	1.8	69.3	2.0
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	882	124	23	717	18
	100.0	14.1	2.6	81.3	2.0
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	882	314	14	538	16
	100.0	35.6	1.6	61.0	1.8

【世帯タイプ（５区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	70	－	28	40	2
	100.0	－	40.0	57.1	2.9
イ）生活に必要な支出の変化	70	40	2	26	2
	100.0	57.1	2.9	37.1	2.9
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	70	19	－	49	2
	100.0	27.1	－	70.0	2.9
エ）お子さんと話をすること	70	11	4	51	4
	100.0	15.7	5.7	72.9	5.7
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	70	9	4	54	3
	100.0	12.9	5.7	77.1	4.3
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	70	28	3	38	1
	100.0	40.0	4.3	54.3	1.4

【世帯タイプ（５区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない
ア）世帯全体の収入の変化	38	－	14	24
	100.0	－	36.8	63.2
イ）生活に必要な支出の変化	38	16	3	19
	100.0	42.1	7.9	50.0
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	38	8	1	29
	100.0	21.1	2.6	76.3
エ）お子さんと話をすること	38	14	1	23
	100.0	36.8	2.6	60.5
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	38	7	1	30
	100.0	18.4	2.6	78.9
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	38	16	－	22
	100.0	42.1	－	57.9

【世帯タイプ（５区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／ふたり親世帯（共働き）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	685	13	184	479	9
	100.0	1.9	26.9	69.9	1.3
イ）生活に必要な支出の変化	685	257	49	370	9
	100.0	37.5	7.2	54.0	1.3
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	685	79	11	579	16
	100.0	11.5	1.6	84.5	2.3
エ）お子さんと話をすること	685	184	10	480	11
	100.0	26.9	1.5	70.1	1.6
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	685	90	17	566	12
	100.0	13.1	2.5	82.6	1.8
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	685	237	11	424	13
	100.0	34.6	1.6	61.9	1.9

【世帯タイプ（５区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	65	－	20	44	1
	100.0	－	30.8	67.7	1.5
イ）生活に必要な支出の変化	65	21	2	40	2
	100.0	32.3	3.1	61.5	3.1
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	65	9	1	53	2
	100.0	13.8	1.5	81.5	3.1
エ）お子さんと話をすること	65	22	－	41	2
	100.0	33.8	－	63.1	3.1
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	65	12	1	50	2
	100.0	18.5	1.5	76.9	3.1
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	65	26	－	38	1
	100.0	40.0	－	58.5	1.5

【世帯タイプ（５区分）別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／世帯タイプの把握が困難】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	24	－	10	14	－
	100.0	－	41.7	58.3	－
イ）生活に必要な支出の変化	24	12	2	9	1
	100.0	50.0	8.3	37.5	4.2
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	24	7	－	16	1
	100.0	29.2	－	66.7	4.2
エ）お子さんと話をすること	24	6	1	16	1
	100.0	25.0	4.2	66.7	4.2
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	24	6	－	17	1
	100.0	25.0	－	70.8	4.2
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	24	7	－	16	1
	100.0	29.2	－	66.7	4.2

【集計区分別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	882	13	256	601	12
	100.0	1.5	29.0	68.1	1.4
イ）生活に必要な支出の変化	882	346	58	464	14
	100.0	39.2	6.6	52.6	1.6
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	882	122	13	726	21
	100.0	13.8	1.5	82.3	2.4
エ）お子さんと話をすること	882	237	16	611	18
	100.0	26.9	1.8	69.3	2.0
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	882	124	23	717	18
	100.0	14.1	2.6	81.3	2.0
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	882	314	14	538	16
	100.0	35.6	1.6	61.0	1.8

【集計区分別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／Ａ世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	143	1	57	83	2
	100.0	0.7	39.9	58.0	1.4
イ）生活に必要な支出の変化	143	68	12	60	3
	100.0	47.6	8.4	42.0	2.1
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	143	35	3	102	3
	100.0	24.5	2.1	71.3	2.1
エ）お子さんと話をすること	143	43	5	91	4
	100.0	30.1	3.5	63.6	2.8
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	143	18	7	114	4
	100.0	12.6	4.9	79.7	2.8
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	143	55	2	83	3
	100.0	38.5	1.4	58.0	2.1

【集計区分別／新型コロナウイルス感染症拡大前からの変化／Ｂ世帯】

（上段：件　下段：%）

	調査数	増えた	減った	変わらない	無回答
ア）世帯全体の収入の変化	685	10	182	485	8
	100.0	1.5	26.6	70.8	1.2
イ）生活に必要な支出の変化	685	258	44	374	9
	100.0	37.7	6.4	54.6	1.3
ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	685	79	10	581	15
	100.0	11.5	1.5	84.8	2.2
エ）お子さんと話をすること	685	177	9	488	11
	100.0	25.8	1.3	71.2	1.6
オ）家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	685	96	15	563	11
	100.0	14.0	2.2	82.2	1.6
カ）あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	685	236	12	426	11
	100.0	34.5	1.8	62.2	1.6

世帯タイプ（３区分）別にみると、ふたり親世帯では『ア）～カ）』のすべての項目で「変わらない」が過半数を占めていますが、ひとり親世帯では『イ）生活に必要な支出の変化』で「増えた」が 51.9%を占めています。それに加えて、ひとり親世帯では『ア）世帯全体の収入の変化』で「減った」が 38.9%、『ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと』で「増えた」が 25.0%と、ふたり親世帯に比べて経済的な項目でマイナス評価が多くなっています。

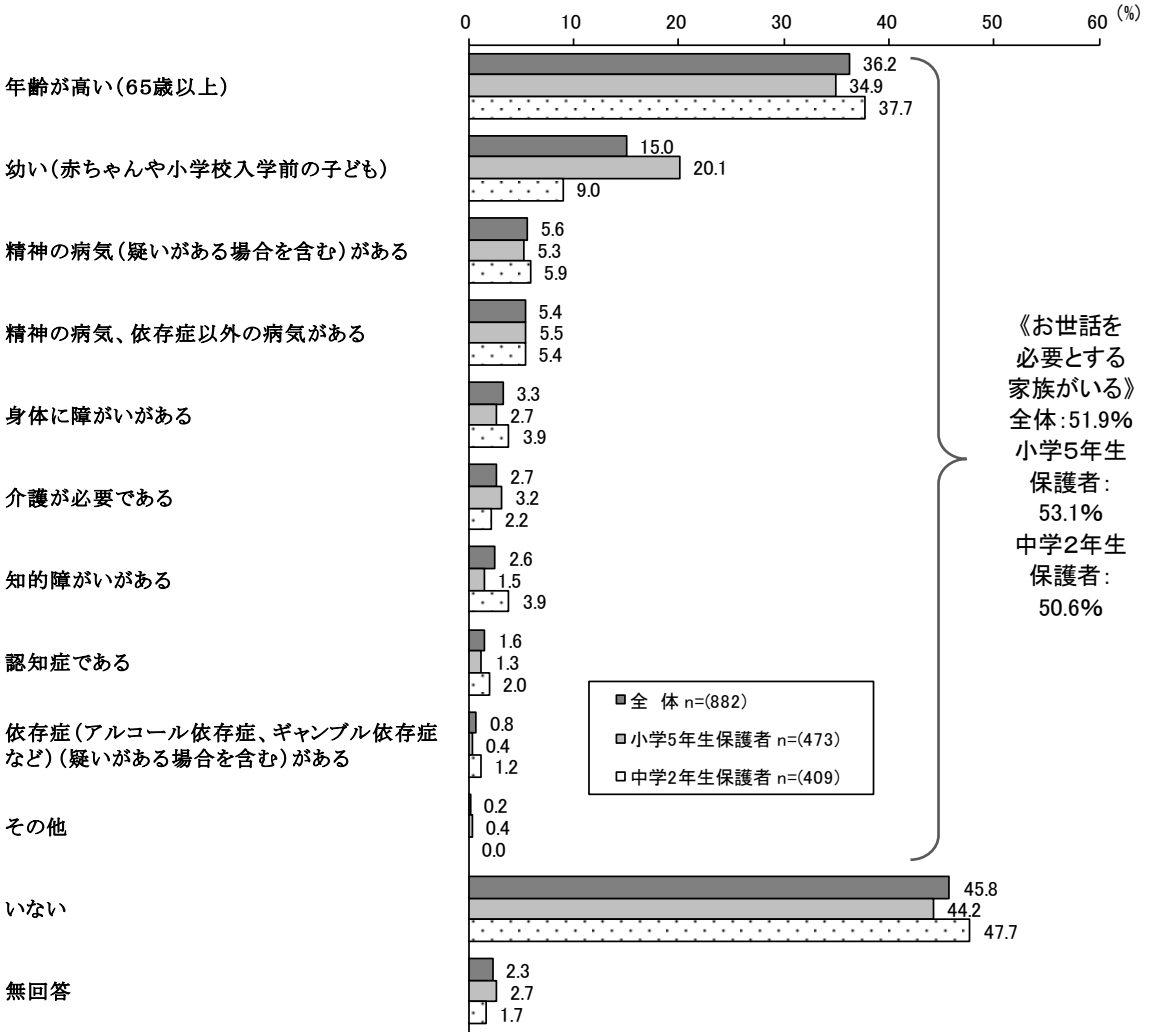
集計区分別にみると、Ｂ世帯ではすべての項目で「変わらない」が過半数を占めています。Ａ世帯では『ア）世帯全体の収入の変化』で「減った」が 39.9%、『イ）生活に必要な支出の変化』で「増えた」が 47.6%、『ウ）お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと』で「増えた」が 24.5%と、Ｂ世帯に比べて経済的な項目でマイナス評価が多くなっています。

かねたん

7．ヤングケアラーについて

（1）家族の中のお世話を必要とする人の有無

問 23　あなたの家族に次にあてはまる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）



家族の中のお世話を必要とする人の有無について、全体では「年齢が高い（65 歳以上）」（36.2%）、「幼い（赤ちゃんや小学校入学前の子ども）」（15.0%）、「精神の病気（疑いがある場合を含む）がある」（5.6%）、「精神の病気、依存症以外の病気がある」（5.4%）など、《お世話を必要とする家族がいる》とする回答は 51.9%となっており、「いない」は 45.8%となっています。小学５年生保護者では「幼い（赤ちゃんや小学校入学前の子ども）」が 20.1%と、中学２年生保護者（9.0%）を 11.1 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／家族の中のお世話を必要とする人の有無／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	年齢が高い（65歳以上）	幼い（赤ちゃんや小学校入学前の子ども）	精神の病気（疑いがある場合を含む）がある	精神の病気、依存症以外の病気がある	身体に障がいがある	介護が必要である	知的障がいがある	認知症である	依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など）（疑いがある場合を含む）がある	その他	いない	無回答
全　体	882	319	132	49	48	29	24	23	14	7	2	404	20
	100.0	36.2	15.0	5.6	5.4	3.3	2.7	2.6	1.6	0.8	0.2	45.8	2.3
世帯タイプ（３区分）													
ひとり親世帯	108	46	11	12	10	4	3	4	2	－	－	49	2
	100.0	42.6	10.2	11.1	9.3	3.7	2.8	3.7	1.9	－	－	45.4	1.9
ふたり親世帯	750	266	117	34	36	24	21	18	11	6	2	346	16
	100.0	35.5	15.6	4.5	4.8	3.2	2.8	2.4	1.5	0.8	0.3	46.1	2.1
世帯タイプの把握が困難	24	7	4	3	2	1	－	1	1	1	－	9	2
	100.0	29.2	16.7	12.5	8.3	4.2	－	4.2	4.2	4.2	－	37.5	8.3
世帯タイプ（５区分）													
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	12	6	7	4	1	1	3	－	－	－	45	2
	100.0	17.1	8.6	10.0	5.7	1.4	1.4	4.3	－	－	－	64.3	2.9
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	34	5	5	6	3	2	1	2	－	－	4	－
	100.0	89.5	13.2	13.2	15.8	7.9	5.3	2.6	5.3	－	－	10.5	－
ふたり親世帯（共働き）	685	248	106	29	27	19	18	11	11	6	－	321	15
	100.0	36.2	15.5	4.2	3.9	2.8	2.6	1.6	1.6	0.9	－	46.9	2.2
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	18	11	5	9	5	3	7	－	－	2	25	1
	100.0	27.7	16.9	7.7	13.8	7.7	4.6	10.8	－	－	3.1	38.5	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	7	4	3	2	1	－	1	1	1	－	9	2
	100.0	29.2	16.7	12.5	8.3	4.2	－	4.2	4.2	4.2	－	37.5	8.3
集計区分													
Ａ世帯	143	58	25	17	10	7	5	7	3	2	－	52	5
	100.0	40.6	17.5	11.9	7.0	4.9	3.5	4.9	2.1	1.4	－	36.4	3.5
Ｂ世帯	685	243	99	29	32	20	19	15	10	5	2	327	14
	100.0	35.5	14.5	4.2	4.7	2.9	2.8	2.2	1.5	0.7	0.3	47.7	2.0

（上段：件　下段：％）

	調査数	お世話を必要とする家族がいる	いない	無回答
全　体	882	458	404	20
	100.0	51.9	45.8	2.3
世帯タイプ（３区分）				
ひとり親世帯	108	57	49	2
	100.0	52.8	45.4	1.9
ふたり親世帯	750	388	346	16
	100.0	51.7	46.1	2.1
世帯タイプの把握が困難	24	13	9	2
	100.0	54.2	37.5	8.3
世帯タイプ（５区分）				
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	23	45	2
	100.0	32.9	64.3	2.9
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	34	4	－
	100.0	89.5	10.5	－
ふたり親世帯（共働き）	685	349	321	15
	100.0	50.9	46.9	2.2
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	39	25	1
	100.0	60.0	38.5	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	13	9	2
	100.0	54.2	37.5	8.3
集計区分				
Ａ世帯	143	86	52	5
	100.0	60.1	36.4	3.5
Ｂ世帯	685	344	327	14
	100.0	50.2	47.7	2.0

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では《お世話を必要とする家族がいる》とする回答は 52.8%となっており、「いない」は 45.4%となっています。ふたり親世帯では《お世話を必要とする家族がいる》とする回答は 51.7%となっており、「いない」は 46.1%となっています。

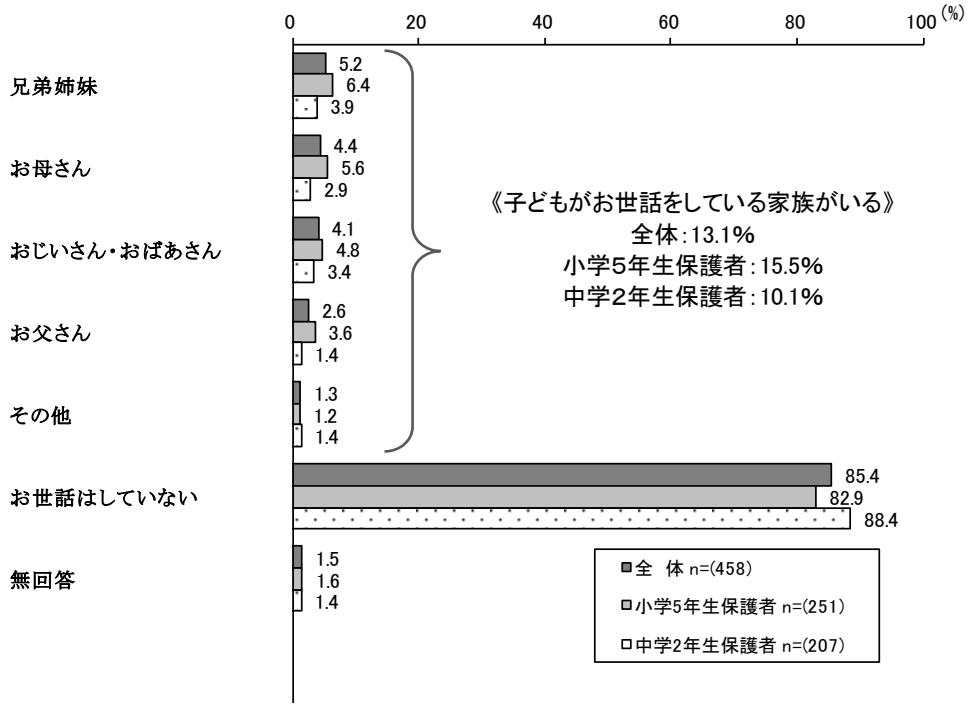
集計区分別にみると、Ａ世帯では《お世話を必要とする家族がいる》が 60.1%と、Ｂ世帯(50.2%)を 9.9 ポイント上回っています。

（2）子どもがお世話をしている家族の有無

問 24　問 23 でお世話を必要とする家族がいると回答した人にお聞きします。

〇をつけた家族のうち、お子さんがお世話をしている人はいますか。それはどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

※ここでいう「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。



子どもがお世話をしている家族の有無について、全体では「兄弟姉妹」（5.2%）、「お母さん」（4.4%）、「おじいさん・おばあさん」（4.1%）、「お父さん」（2.6%）など、《子どもがお世話をしている家族がいる》とする回答は 13.1%となっており、「お世話はしていない」は 85.4%となっています。小学５年生保護者では《子どもがお世話をしている家族がいる》は 15.5%と、中学２年生保護者（10.1%）を 5.4 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どもがお世話をしている家族の有無／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	兄弟姉妹	お母さん	おじいさん・おばあさん	お父さん	その他	お世話はしていない	無回答
全　体	458	24	20	19	12	6	391	7
	100.0	5.2	4.4	4.1	2.6	1.3	85.4	1.5
世帯タイプ（３区分）								
ひとり親世帯	57	1	2	6	－	3	46	－
	100.0	1.8	3.5	10.5	－	5.3	80.7	－
ふたり親世帯	388	23	15	13	11	2	336	6
	100.0	5.9	3.9	3.4	2.8	0.5	86.6	1.5
世帯タイプの把握が困難	13	－	3	－	1	1	9	1
	100.0	－	23.1	－	7.7	7.7	69.2	7.7
世帯タイプ（５区分）								
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	23	1	1	2	－	2	17	－
	100.0	4.3	4.3	8.7	－	8.7	73.9	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	34	－	1	4	－	1	29	－
	100.0	－	2.9	11.8	－	2.9	85.3	－
ふたり親世帯（共働き）	349	21	13	12	10	2	304	4
	100.0	6.0	3.7	3.4	2.9	0.6	87.1	1.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	39	2	2	1	1	－	32	2
	100.0	5.1	5.1	2.6	2.6	－	82.1	5.1
世帯タイプの把握が困難	13	－	3	－	1	1	9	1
	100.0	－	23.1	－	7.7	7.7	69.2	7.7
集計区分								
Ａ世帯	86	6	8	7	3	3	67	1
	100.0	7.0	9.3	8.1	3.5	3.5	77.9	1.2
Ｂ世帯	344	18	12	12	9	1	298	6
	100.0	5.2	3.5	3.5	2.6	0.3	86.6	1.7

（上段：件　下段：％）

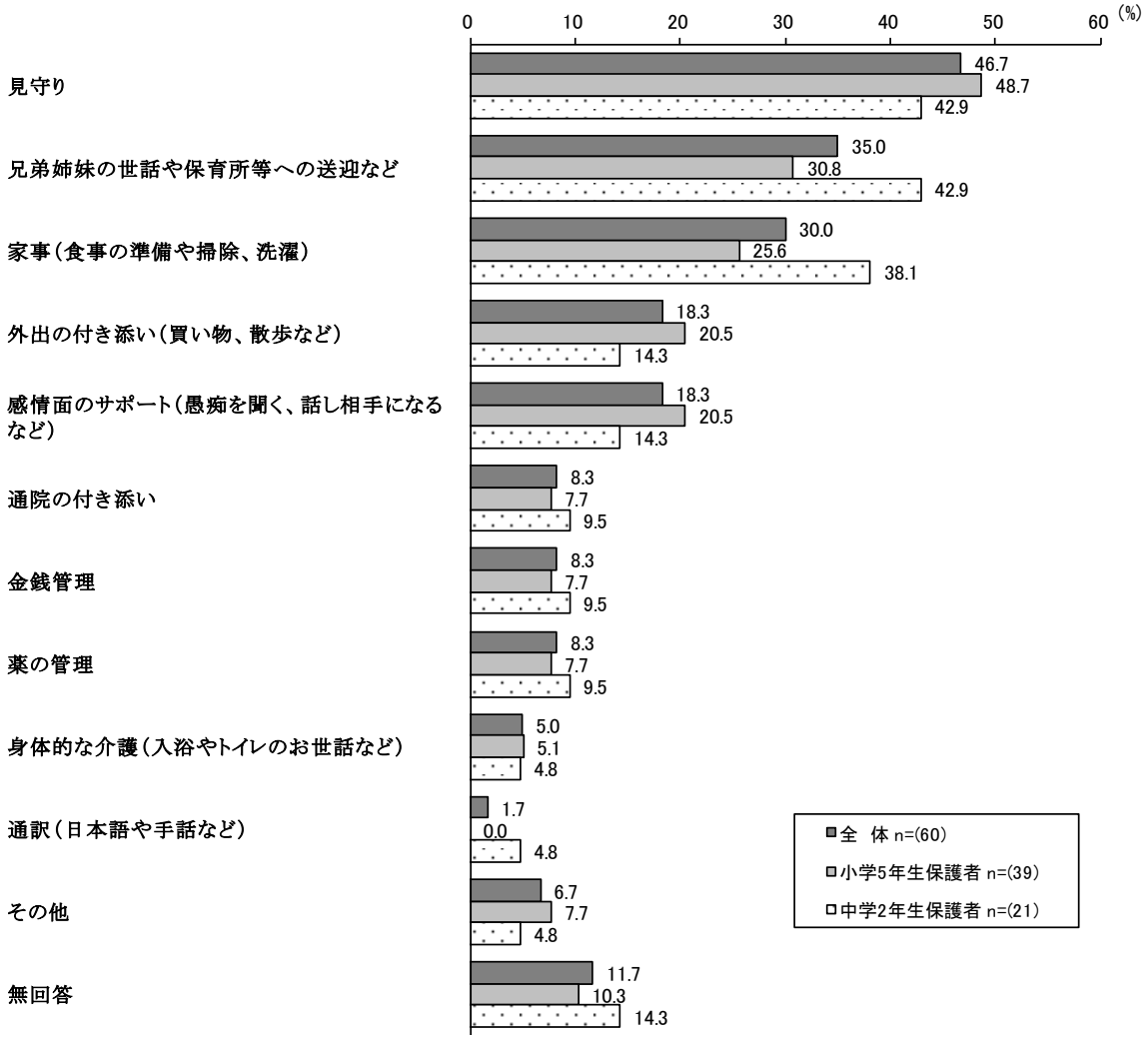
	調査数	子どもがお世話をしている家族がいる	お世話はしていない	無回答
全　体	458	60	391	7
	100.0	13.1	85.4	1.5
世帯タイプ（３区分）				
ひとり親世帯	57	11	46	－
	100.0	19.3	80.7	－
ふたり親世帯	388	46	336	6
	100.0	11.9	86.6	1.5
世帯タイプの把握が困難	13	3	9	1
	100.0	23.1	69.2	7.7
世帯タイプ（５区分）				
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	23	6	17	－
	100.0	26.1	73.9	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	34	5	29	－
	100.0	14.7	85.3	－
ふたり親世帯（共働き）	349	41	304	4
	100.0	11.7	87.1	1.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	39	5	32	2
	100.0	12.8	82.1	5.1
世帯タイプの把握が困難	13	3	9	1
	100.0	23.1	69.2	7.7
集計区分				
Ａ世帯	86	18	67	1
	100.0	20.9	77.9	1.2
Ｂ世帯	344	40	298	6
	100.0	11.6	86.6	1.7

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では《子どもがお世話をしている家族がいる》とする回答は 19.3%となっており、「お世話はしていない」は 80.7%となっています。ふたり親世帯では《子どもがお世話をしている家族がいる》とする回答は 11.9%となっており、「お世話はしていない」は 86.6%となっています。ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに「お世話はしていない」が８割以上を占めていますが、《子どもがお世話をしている家族がいる》はひとり親世帯がふたり親世帯を 7.4 ポイント上回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では《子どもがお世話をしている家族がいる》とする回答は 20.9%となっており、「お世話はしていない」は 77.9%となっています。ふたり親世帯では《子どもがお世話をしている家族がいる》とする回答は 11.6%となっており、「お世話はしていない」は 86.6%となっています。Ａ世帯、Ｂ世帯ともに「お世話はしていない」が７割以上を占めていますが、《子どもがお世話をしている家族がいる》はＡ世帯がＢ世帯を 9.3 ポイント上回っています。

（3）子どもが行っているお世話の内容

問 25　問 24 でお子さんがお世話をしている家族がいると回答した人にお聞きします。
お子さんが行っているお世話の内容をお答えください。（あてはまるものすべてに○）



子どもが行っているお世話の内容について、全体では「見守り」が 46.7%と最も多く、以下「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」（35.0%）、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」（30.0%）、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」（ともに 18.3%）となっています。小学５年生保護者では「外出の付き添い」（20.5%）、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」（20.5%）が中学２年生保護者（ともに 14.3%）を 6.2 ポイント上回り、中学２年生保護者では「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」（42.9%）で 12.1 ポイント、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」（38.1%）で 12.5 ポイント、小学５年生保護者を上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どもが行っているお世話の内容／全体】

（上段：件　下段：％）

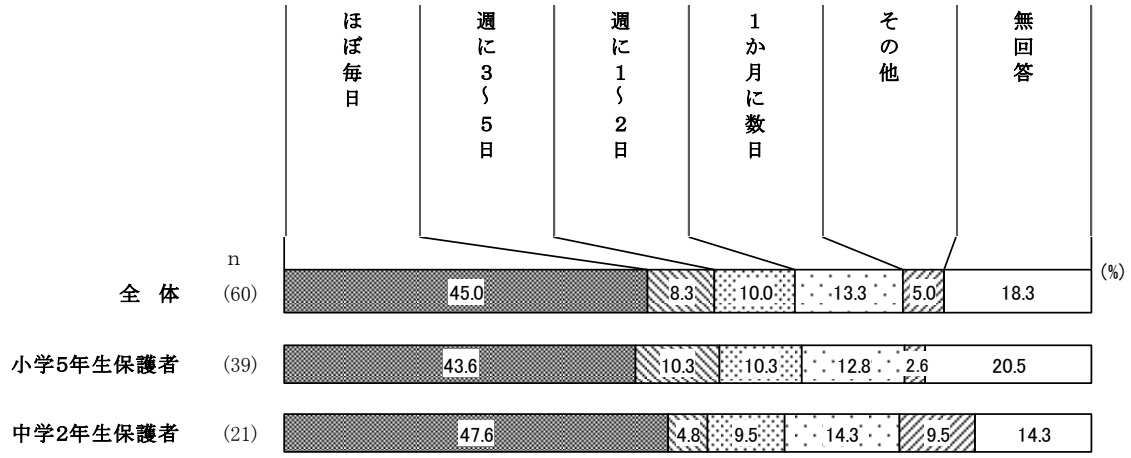
	調査数	見守り	兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	通院の付き添い	金銭管理	薬の管理	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	通訳（日本語や手話など）	その他	無回答
全　体	60	28	21	18	11	11	5	5	5	3	1	4	7
	100.0	46.7	35.0	30.0	18.3	18.3	8.3	8.3	8.3	5.0	1.7	6.7	11.7
世帯タイプ（３区分）													
ひとり親世帯	11	8	－	2	－	2	－	－	1	－	－	－	2
	100.0	72.7	－	18.2	－	18.2	－	－	9.1	－	－	－	18.2
ふたり親世帯	46	19	19	15	10	8	4	5	3	3	1	3	5
	100.0	41.3	41.3	32.6	21.7	17.4	8.7	10.9	6.5	6.5	2.2	6.5	10.9
世帯タイプの把握が困難	3	1	2	1	1	1	1	－	1	－	－	1	－
	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	－	33.3	－	－	33.3	－
世帯タイプ（５区分）													
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	6	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	5	2	－	2	－	2	－	－	1	－	－	－	2
	100.0	40.0	－	40.0	－	40.0	－	－	20.0	－	－	－	40.0
ふたり親世帯（共働き）	41	15	16	14	8	7	3	4	2	2	1	3	5
	100.0	36.6	39.0	34.1	19.5	17.1	7.3	9.8	4.9	4.9	2.4	7.3	12.2
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	5	4	3	1	2	1	1	1	1	1	－	－	－
	100.0	80.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	－	－	－
世帯タイプの把握が困難	3	1	2	1	1	1	1	－	1	－	－	1	－
	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	－	33.3	－	－	33.3	－
集計区分													
A世帯	18	8	4	3	3	4	－	－	1	1	1	1	3
	100.0	44.4	22.2	16.7	16.7	22.2	－	－	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7
B世帯	40	18	17	15	8	7	5	5	4	2	－	3	4
	100.0	45.0	42.5	37.5	20.0	17.5	12.5	12.5	10.0	5.0	－	7.5	10.0

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「見守り」が 72.7%（８件）と最も多く、以下「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」（ともに 18.2%・２件）、「薬の管理」（9.1%・１件）となっています。ふたり親世帯では「見守り」、「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」が 41.3%（19 件）とともに多く、以下「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」（32.6%・15 件）、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」（21.7%・10 件）となっています。ひとり親世帯では「見守り」がふたり親世帯を 31.4 ポイント上回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「見守り」が 44.4%（８件）と最も多く、以下「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」（ともに 22.2%・４件）、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」（ともに 16.7%・３件）となっています。Ｂ世帯では「見守り」が 45.0%（18 件）、「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」が 42.5%（17 件）とともに多く、以下「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」（37.5%・15 件）、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」（20.0%・８件）、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」（17.5%・７件）となっています。Ｂ世帯では「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」が 42.5%（17 件）と、Ａ世帯（22.2%・４件）を 20.3 ポイント、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が 37.5%（15 件）と、Ａ世帯（16.7%・３件）を 20.8 ポイント上回っています。

（4）子どもがお世話をしている頻度

問 26　問 24 でお子さんがお世話をしている家族がいると回答した人にお聞きします。
お子さんがお世話をしている頻度をお答えください。（あてはまるもの１つに○）



子どもがお世話をしている頻度について、全体では「ほぼ毎日」が 45.0%と最も多く、以下「１か月に数日」（13.3%）、「週に１～２日」（10.0%）、「週に３～５日」（8.3%）となっています。中学２年生保護者では「ほぼ毎日」が 47.6%と、小学５年生保護者（43.6%）を 4.0 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どもがお世話をしている頻度／全体】

（上段：件　下段：%）

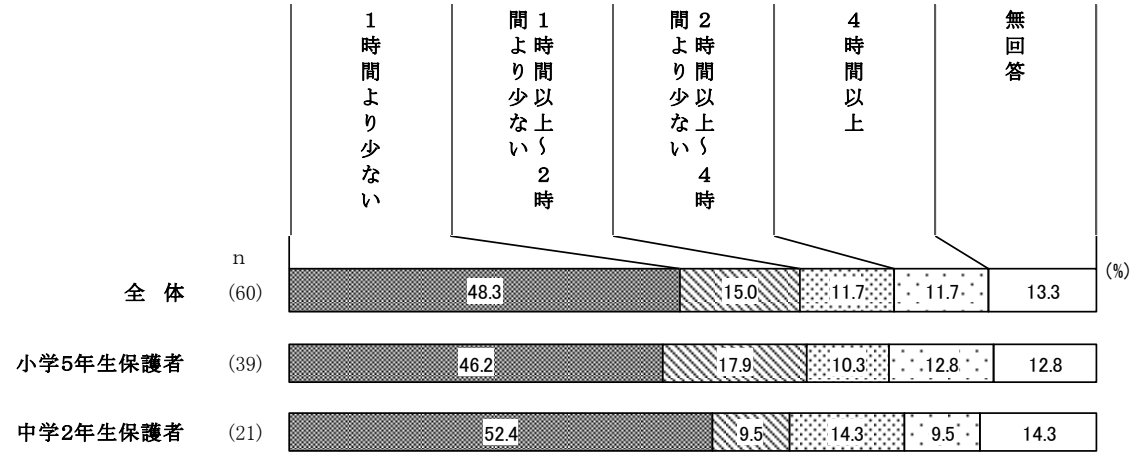
	調査数	ほぼ毎日	週に３～５日	週に１～２日	１か月に数日	その他	無回答
全　体	60	27	5	6	8	3	11
	100.0	45.0	8.3	10.0	13.3	5.0	18.3
世帯タイプ（３区分）							
ひとり親世帯	11	5	1	1	1	－	3
	100.0	45.5	9.1	9.1	9.1	－	27.3
ふたり親世帯	46	19	4	5	7	3	8
	100.0	41.3	8.7	10.9	15.2	6.5	17.4
世帯タイプの把握が困難	3	3	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
世帯タイプ（５区分）							
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	6	1	1	1	1	－	2
	100.0	16.7	16.7	16.7	16.7	－	33.3
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	5	4	－	－	－	－	1
	100.0	80.0	－	－	－	－	20.0
ふたり親世帯（共働き）	41	18	4	3	6	3	7
	100.0	43.9	9.8	7.3	14.6	7.3	17.1
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	5	1	－	2	1	－	1
	100.0	20.0	－	40.0	20.0	－	20.0
世帯タイプの把握が困難	3	3	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－
集計区分							
Ａ世帯	18	7	3	3	1	－	4
	100.0	38.9	16.7	16.7	5.6	－	22.2
Ｂ世帯	40	19	2	3	7	2	7
	100.0	47.5	5.0	7.5	17.5	5.0	17.5

世帯タイプ（３区分）別にみると、「ほぼ毎日」がひとり親世帯（45.5%・５件）、ふたり親世帯（41.3%・19 件）ともに最も多くなっています。

集計区分別にみると、「ほぼ毎日」がＡ世帯（38.9%・７件）、Ｂ世帯（47.5%・19 件）ともに最も多くなっています。

（5）子どもがお世話をしている１日あたりの時間

問 27　問 24 でお子さんがお世話をしている家族がいると回答した人にお聞きします。
平日にお子さんがお世話をしている時間は１日何時間くらいですか。
（あてはまるもの１つに○）



子どもがお世話をしている１日あたりの時間について、全体では「１時間より少ない」が 48.3%と最も多く、以下「１時間以上～２時間より少ない」（15.0%）、「２時間以上～４時間より少ない」、「４時間以上」（ともに 11.7%）となっています。中学２年生保護者では「１時間より少ない」が 52.4%と、小学５年生保護者（46.2%）を 6.2 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どもがお世話をしている１日あたりの時間／全体】

（上段：件　下段：％）

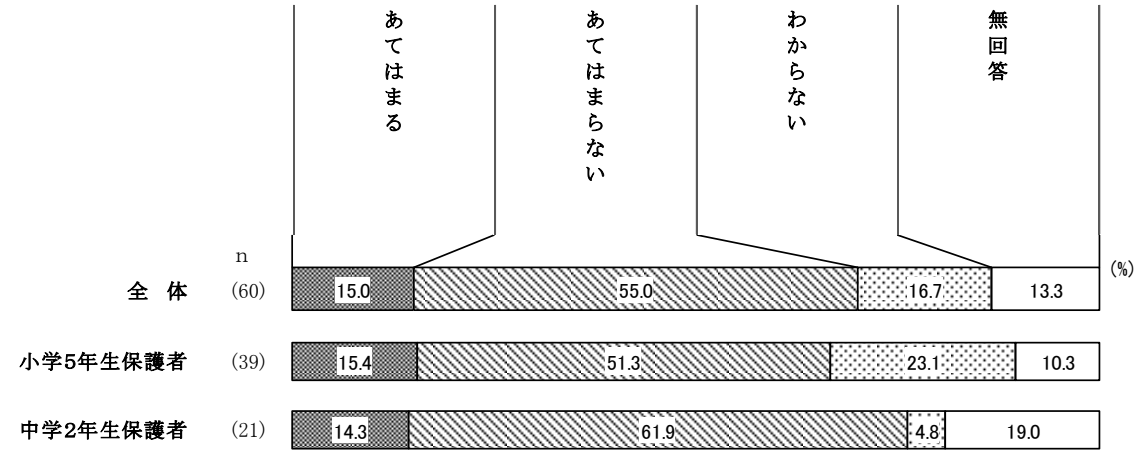
	調査数	1時間より少ない	1時間以上～2時間より少ない	2時間以上～4時間より少ない	4時間以上	無回答
全　体	60	29	9	7	7	8
	100.0	48.3	15.0	11.7	11.7	13.3
世帯タイプ（３区分）						
ひとり親世帯	11	1	3	4	2	1
	100.0	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1
ふたり親世帯	46	27	6	2	4	7
	100.0	58.7	13.0	4.3	8.7	15.2
世帯タイプの把握が困難	3	1	－	1	1	－
	100.0	33.3	－	33.3	33.3	－
世帯タイプ（５区分）						
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	6	1	1	2	2	－
	100.0	16.7	16.7	33.3	33.3	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	5	－	2	2	－	1
	100.0	－	40.0	40.0	－	20.0
ふたり親世帯（共働き）	41	24	5	2	4	6
	100.0	58.5	12.2	4.9	9.8	14.6
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	5	3	1	－	－	1
	100.0	60.0	20.0	－	－	20.0
世帯タイプの把握が困難	3	1	－	1	1	－
	100.0	33.3	－	33.3	33.3	－
集計区分						
Ａ世帯	18	6	2	5	3	2
	100.0	33.3	11.1	27.8	16.7	11.1
Ｂ世帯	40	22	6	2	4	6
	100.0	55.0	15.0	5.0	10.0	15.0

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「２時間以上～４時間より少ない」が 36.4%（４件）と最も多く、以下「１時間以上～２時間より少ない」（27.3%・３件）、「４時間以上」（18.2%・２件）となっており、「１時間より少ない」は 9.1%（１件）にとどまっています。ふたり親世帯では「１時間より少ない」が 58.7%（27 件）と最も多く、以下「１時間以上～２時間より少ない」（13.0%・６件）、「４時間以上」（8.7%・４件）となっています。ひとり親世帯では「１時間より少ない」がふたり親世帯を 49.6 ポイント下回り、それ以上の時間への回答が多くなっています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「１時間より少ない」（33.3%・６件）がＢ世帯（55.0%・22 件）を 21.7 ポイント下回り、「２時間以上～４時間より少ない」（27.8%・５件）がＢ世帯（5.0%・２件）を 22.8 ポイント上回っています。

（6）子どものヤングケアラーへの該当

問 28　問 24 でお子さんがお世話をしている家族がいると回答した人にお聞きします。
お子さんは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。「ヤングケアラー」について下に説明があるので、それを見てお答えください。（あてはまるもの１つに○）



子どものヤングケアラーへの該当について、全体では「あてはまる」が 15.0%となっており、「あてはまらない」は 55.0%、「わからない」は 16.7%となっています。「あてはまる」は小学５年生保護者では 15.4%、中学２年生保護者では 14.3%と概ね同様となっていますが、「あてはまらない」は中学２年生保護者では 61.9%と、小学５年生保護者（51.3%）を 10.6 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子どものヤングケアラーへの該当／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全　体	60	9	33	10	8
	100.0	15.0	55.0	16.7	13.3
世帯タイプ（３区分）					
ひとり親世帯	11	－	6	4	1
	100.0	－	54.5	36.4	9.1
ふたり親世帯	46	8	27	5	6
	100.0	17.4	58.7	10.9	13.0
世帯タイプの把握が困難	3	1	－	1	1
	100.0	33.3	－	33.3	33.3
世帯タイプ（５区分）					
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	6	－	4	2	－
	100.0	－	66.7	33.3	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	5	－	2	2	1
	100.0	－	40.0	40.0	20.0
ふたり親世帯（共働き）	41	8	25	3	5
	100.0	19.5	61.0	7.3	12.2
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	5	－	2	2	1
	100.0	－	40.0	40.0	20.0
世帯タイプの把握が困難	3	1	－	1	1
	100.0	33.3	－	33.3	33.3
集計区分					
Ａ世帯	18	2	8	5	3
	100.0	11.1	44.4	27.8	16.7
Ｂ世帯	40	7	23	5	5
	100.0	17.5	57.5	12.5	12.5

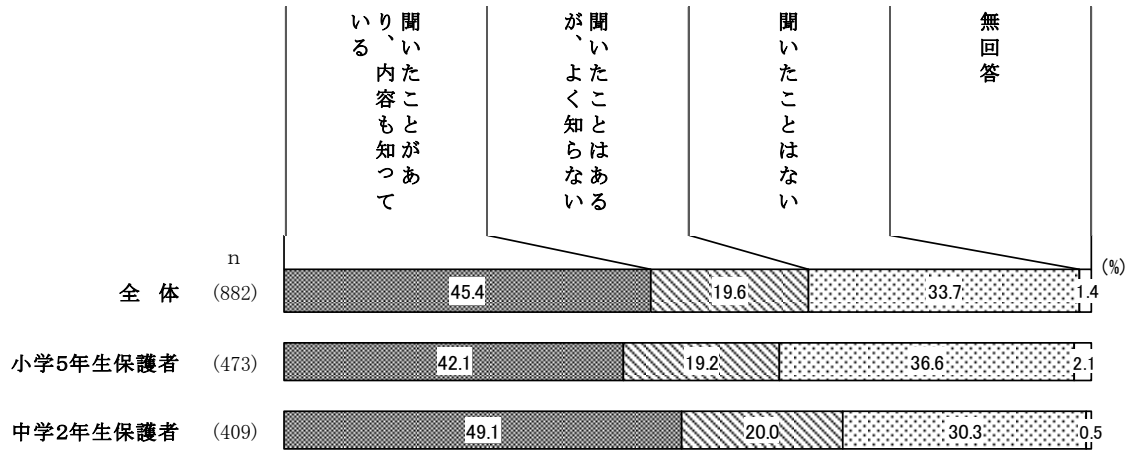
世帯タイプ（３区分）別にみると、「あてはまる」はひとり親世帯では見られず、ふたり親世帯では 17.4%（８件）となっており、「あてはまらない」がひとり親世帯（54.5%・６件）、ふたり親世帯(58.7%･27 件)ともに最も多くなっています。ひとり親世帯では「わからない」が 36.4%（４件）と、ふたり親世帯（10.9%・５件）を 25.5 ポイント上回っています。

集計区分別にみると、「あてはまる」はＡ世帯で 11.1%（２件）、Ｂ世帯で 17.5%（７件）となっており、「あてはまらない」がＡ世帯（44.4%・８件）、Ｂ世帯（17.5%・23 件）ともに最も多くなっています。Ａ世帯では「わからない」が 27.8%（５件）と、Ｂ世帯（12.5%・５件）を 15.3 ポイント上回っています。

（7）ヤングケアラーの認知度

問 29　「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

（あてはまるもの１つに○）



ヤングケアラーの認知度について、全体では「聞いたことがあり、内容も知っている」が 45.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 19.6%、「聞いたことはない」が 33.7%となっています。中学２年生保護者では「聞いたことがあり、内容も知っている」が 49.1%と、小学５年生保護者（42.1%）を 7.0 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／ヤングケアラーの認知度／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたことはない	無回答
全　体	882	400	173	297	12
	100.0	45.4	19.6	33.7	1.4
世帯タイプ（３区分）					
ひとり親世帯	108	38	24	45	1
	100.0	35.2	22.2	41.7	0.9
ふたり親世帯	750	350	144	245	11
	100.0	46.7	19.2	32.7	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	12	5	7	－
	100.0	50.0	20.8	29.2	－
世帯タイプ（５区分）					
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	24	13	32	1
	100.0	34.3	18.6	45.7	1.4
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	14	11	13	－
	100.0	36.8	28.9	34.2	－
ふたり親世帯（共働き）	685	309	136	229	11
	100.0	45.1	19.9	33.4	1.6
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	41	8	16	－
	100.0	63.1	12.3	24.6	－
世帯タイプの把握が困難	24	12	5	7	－
	100.0	50.0	20.8	29.2	－
集計区分					
Ａ世帯	143	52	28	62	1
	100.0	36.4	19.6	43.4	0.7
Ｂ世帯	685	330	134	210	11
	100.0	48.2	19.6	30.7	1.6

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「聞いたことはない」が 41.7%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 35.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 22.2%となっています。ふたり親世帯では「聞いたことがあり、内容も知っている」が 46.7%、「聞いたことはない」が 32.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 19.2%となっています。ふたり親世帯では「聞いたことがあり、内容も知っている」がひとり親世帯を 11.5 ポイント上回っています。

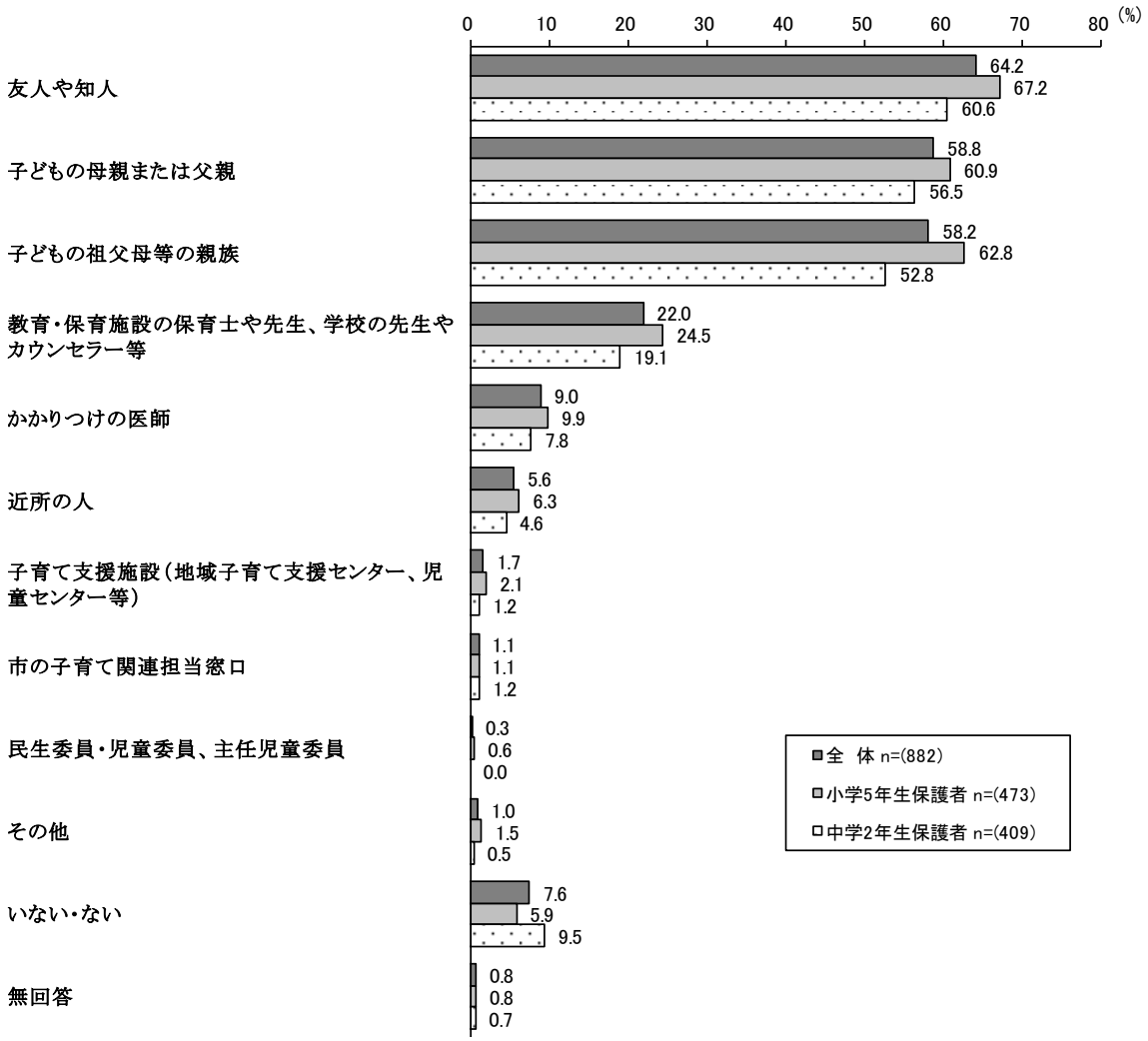
集計区分別にみると、Ａ世帯では「聞いたことはない」が 43.4%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 36.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 19.6%となっています。Ｂ世帯では「聞いたことがあり、内容も知っている」が 48.2%、「聞いたことはない」が 30.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 19.6%となっています。Ｂ世帯では「聞いたことがあり、内容も知っている」がＡ世帯を 11.8 ポイント上回っています。

８．相談や情報の入手先、要望等について

（１）子育てや教育に関する相談先

問 30　お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。

（あてはまるものすべてに○）



子育てや教育に関する相談先について、全体では「友人や知人」が 64.2%と最も多く、以下「子どもの母親または父親」（58.8%）、「子どもの祖父母等の親族」（58.2%）、「教育・保育施設の保育士や先生、学校の先生やカウンセラー等」（22.0%）となっています。中学２年生保護者では「子どもの祖父母等の親族」（52.8%）で 10.0 ポイント、「友人や知人」（60.6%）で 6.6 ポイント、「教育・保育施設の保育士や先生、学校の先生やカウンセラーなど」（19.1%）で 5.4 ポイント、小学５年生保護者を下回り、「いない・ない」（9.5%）が小学５年生保護者を 3.6 ポイント上回っています。

【世帯タイプ別・集計区分別／子育てや教育に関する相談先／全体】

（上段：件　下段：％）

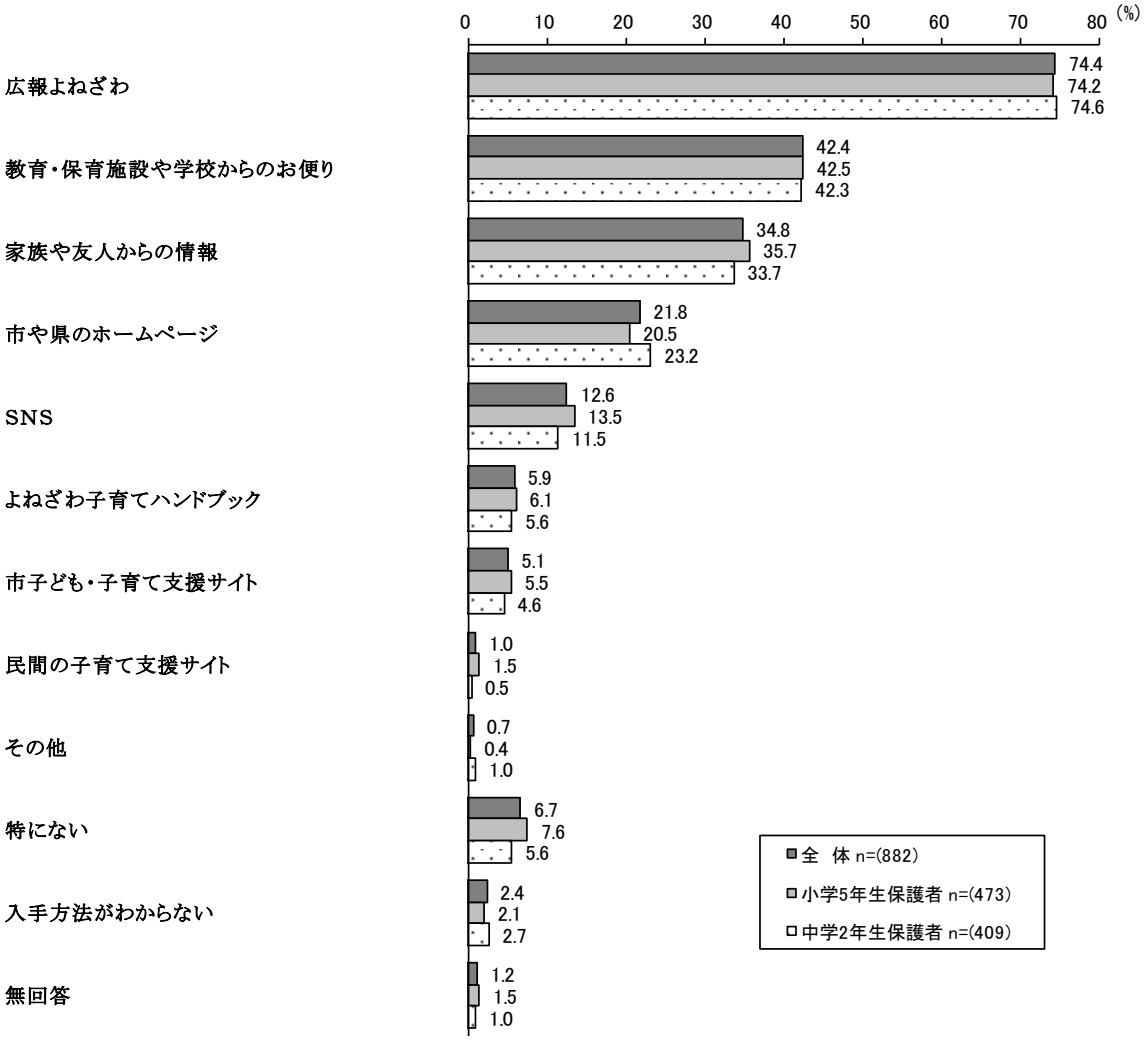
	調査数	友人や知人	子どもの母親または父親	子どもの祖父母等の親族	教育・保育施設の保育士や先生、学校の先生やカウンセラー等	かかりつけの医師	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童センター等）	市の子育て関連担当窓口	民生委員・児童委員、主任児童委員	その他	いない・ない	無回答
全　体	882	566	519	513	194	79	49	15	10	3	9	67	7
	100.0	64.2	58.8	58.2	22.0	9.0	5.6	1.7	1.1	0.3	1.0	7.6	0.8
世帯タイプ（３区分）													
ひとり親世帯	108	64	8	57	19	14	6	2	2	2	1	17	3
	100.0	59.3	7.4	52.8	17.6	13.0	5.6	1.9	1.9	1.9	0.9	15.7	2.8
ふたり親世帯	750	485	496	448	167	62	41	11	7	1	8	49	4
	100.0	64.7	66.1	59.7	22.3	8.3	5.5	1.5	0.9	0.1	1.1	6.5	0.5
世帯タイプの把握が困難	24	17	15	8	8	3	2	2	1	－	－	1	－
	100.0	70.8	62.5	33.3	33.3	12.5	8.3	8.3	4.2	－	－	4.2	－
世帯タイプ（５区分）													
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	40	5	38	14	8	5	2	2	2	－	12	－
	100.0	57.1	7.1	54.3	20.0	11.4	7.1	2.9	2.9	2.9	－	17.1	－
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	24	3	19	5	6	1	－	－	－	1	5	3
	100.0	63.2	7.9	50.0	13.2	15.8	2.6	－	－	－	2.6	13.2	7.9
ふたり親世帯（共働き）	685	445	454	411	152	57	35	9	5	1	7	46	4
	100.0	65.0	66.3	60.0	22.2	8.3	5.1	1.3	0.7	0.1	1.0	6.7	0.6
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	40	42	37	15	5	6	2	2	－	1	3	－
	100.0	61.5	64.6	56.9	23.1	7.7	9.2	3.1	3.1	－	1.5	4.6	－
世帯タイプの把握が困難	24	17	15	8	8	3	2	2	1	－	－	1	－
	100.0	70.8	62.5	33.3	33.3	12.5	8.3	8.3	4.2	－	－	4.2	－
集計区分													
A世帯	143	89	57	70	29	14	6	3	2	2	2	19	1
	100.0	62.2	39.9	49.0	20.3	9.8	4.2	2.1	1.4	1.4	1.4	13.3	0.7
B世帯	685	444	428	406	149	61	40	10	7	－	7	46	4
	100.0	64.8	62.5	59.3	21.8	8.9	5.8	1.5	1.0	－	1.0	6.7	0.6

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯、ふたり親世帯ともに「友人や知人」、「子どもの祖父母等の親族」が５割以上となっていますが、ひとり親世帯では「子どもの母親または父親」が 7.4%と、ふたり親世帯（66.1%）を 58.7 ポイント下回り、「いない・ない」が 15.7%と、ふたり親世帯（6.5%）を 9.2 ポイント上回っています。

集計区分別にみると、「友人や知人」がＡ世帯（62.2%）、Ｂ世帯（64.8%）ともに最も多くなっています。ひとり親世帯の割合が多いＡ世帯では「子どもの母親または父親」が 39.9%と、Ｂ世帯（62.5%）を 22.6 ポイント下回っています。

（2）公的な子育て・生活支援情報の入手先

問 31　あなたは、県や市町村が実施している子育てや生活に関する支援の情報をどうやって知りますか。（あてはまるものすべてに○）



公的な子育て・生活支援情報の入手先について、全体では「広報よねざわ」が 74.4%と最も多く、以下「教育・保育施設や学校からのお便り」（42.4%）、「家族や友人からの情報」（34.8%）、「市や県のホームページ」（21.8%）、「ＳＮＳ」（12.6%）となっており、小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／公的な子育て・生活支援情報の入手先／全体】

（上段：件　下段：％）

	調査数	広報よねざわ	教育・保育施設や学校からのお便り	家族や友人からの情報	市や県のホームページ	ＳＮＳ	よねざわ子育てハンドブック	市子ども・子育て支援サイト	民間の子育て支援サイト	その他	特にない	入手方法がわからない	無回答
全　体	882	656	374	307	192	111	52	45	9	6	59	21	11
	100.0	74.4	42.4	34.8	21.8	12.6	5.9	5.1	1.0	0.7	6.7	2.4	1.2
世帯タイプ（３区分）													
ひとり親世帯	108	69	46	28	23	9	6	6	1	－	9	2	4
	100.0	63.9	42.6	25.9	21.3	8.3	5.6	5.6	0.9	－	8.3	1.9	3.7
ふたり親世帯	750	566	318	277	164	100	46	38	8	5	48	19	7
	100.0	75.5	42.4	36.9	21.9	13.3	6.1	5.1	1.1	0.7	6.4	2.5	0.9
世帯タイプの把握が困難	24	21	10	2	5	2	－	1	－	1	2	－	－
	100.0	87.5	41.7	8.3	20.8	8.3	－	4.2	－	4.2	8.3	－	－
世帯タイプ（５区分）													
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	42	28	15	15	5	3	4	1	－	7	2	1
	100.0	60.0	40.0	21.4	21.4	7.1	4.3	5.7	1.4	－	10.0	2.9	1.4
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	27	18	13	8	4	3	2	－	－	2	－	3
	100.0	71.1	47.4	34.2	21.1	10.5	7.9	5.3	－	－	5.3	－	7.9
ふたり親世帯（共働き）	685	519	290	251	149	93	44	36	8	5	45	17	6
	100.0	75.8	42.3	36.6	21.8	13.6	6.4	5.3	1.2	0.7	6.6	2.5	0.9
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	47	28	26	15	7	2	2	－	－	3	2	1
	100.0	72.3	43.1	40.0	23.1	10.8	3.1	3.1	－	－	4.6	3.1	1.5
世帯タイプの把握が困難	24	21	10	2	5	2	－	1	－	1	2	－	－
	100.0	87.5	41.7	8.3	20.8	8.3	－	4.2	－	4.2	8.3	－	－
集計区分													
A世帯	143	105	57	36	26	19	10	11	1	1	11	4	3
	100.0	73.4	39.9	25.2	18.2	13.3	7.0	7.7	0.7	0.7	7.7	2.8	2.1
B世帯	685	511	297	262	159	85	38	31	8	5	42	16	5
	100.0	74.6	43.4	38.2	23.2	12.4	5.5	4.5	1.2	0.7	6.1	2.3	0.7

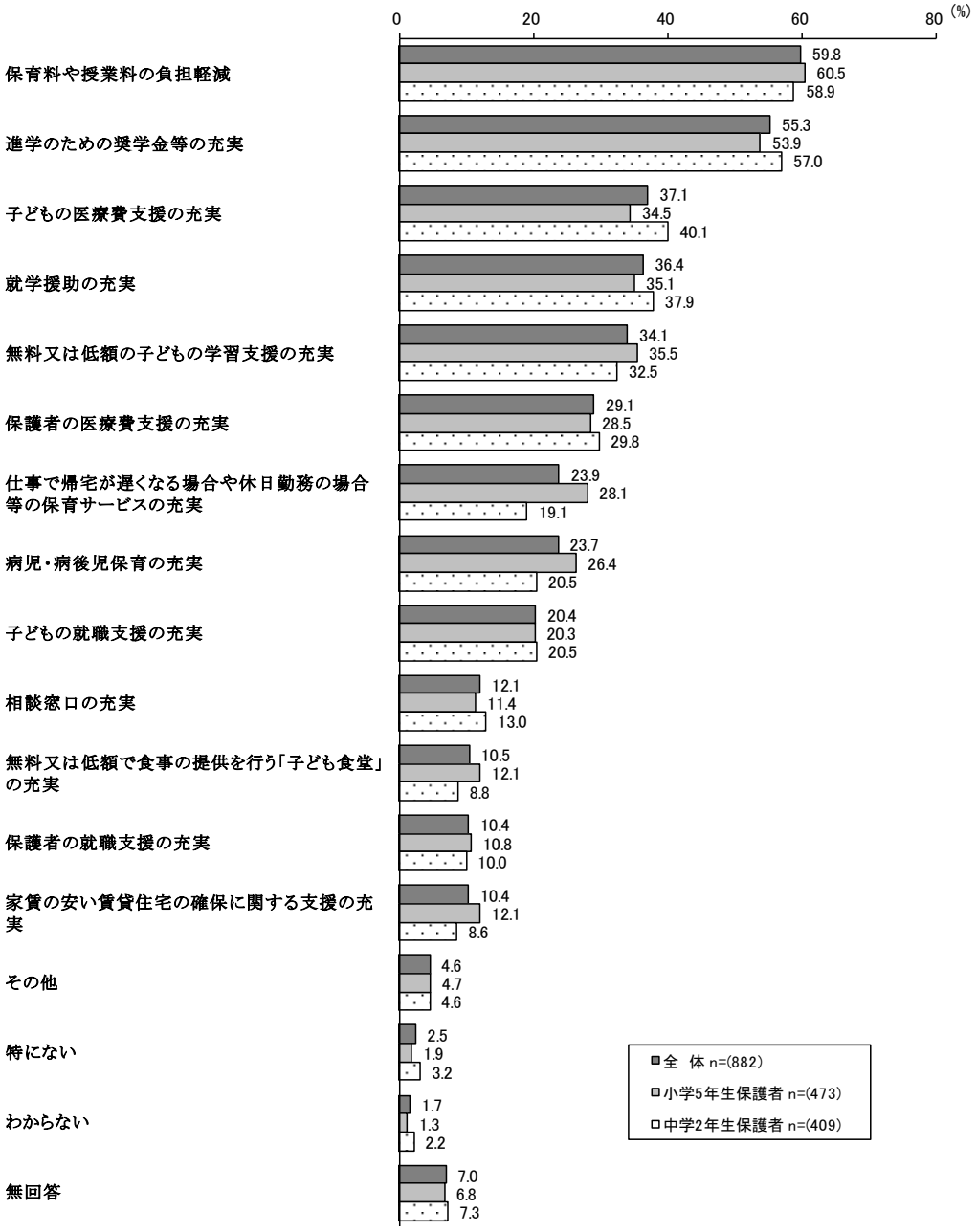
世帯タイプ（３区分）別にみると、「広報よねざわ」がひとり親世帯（63.9%）、ふたり親世帯（75.5%）ともに最も多くなっています。ひとり親世帯では「家族や友人からの情報」が 25.9%と、ふたり親世帯（36.9%）を 11.0 ポイント下回るなど、ふたり親世帯を下回る項目が多くなっています。

集計区分別にみると、「広報よねざわ」がＡ世帯（73.4%）、Ｂ世帯（74.6%）ともに最も多くなっています。Ａ世帯では「家族や友人からの情報」が 25.2%と、Ｂ世帯（38.2%）を 13.0 ポイント下回るなど、Ｂ世帯を下回る項目が多くなっています。

（3）充実すべき子育て・生活支援

問 32　あなたは、どのような子育て・生活支援の充実が必要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）



充実すべき子育て・生活支援について、全体では「保育料や授業料の負担軽減」が 59.8%と最も多く、以下「進学のための奨学金等の充実」(55.3%)、「子どもの医療費支援の充実」(37.1%)、「就学援助の充実」（36.4%）、「無料又は低額の子どもの学習支援の充実」（34.1%）、「保護者の医療費支援の充実」（29.1%）、「仕事で帰宅が遅くなる場合や休日勤務の場合等の保育サービスの充実」（23.9%）、「病児・病後児保育の充実」（23.7%）、「子どもの就職支援の充実」（20.4%）、「相談窓口の充実」（12.1%）、「無料又は低額で食事の提供を行う「子ども食堂」の充実」（10.5%）、「保護者の就職支援の充実」、「家賃の安い賃貸住宅の確保に関する支援の充実」（ともに 10.4%）となっています。

小学５年生保護者、中学２年生保護者ともに第１位は「保育料や授業料の負担軽減」、第２位は「進学のための奨学金等の充実」となっています。第３位以降をみると、小学５年生保護者では「無料又は低額の子どもの学習支援の充実」（35.5%）、「就学援助の充実」（35.1%）、「子どもの医療費支援の充実」（34.5%）の順となっており、子どもの医療費支援より就学援助や学習支援への回答が多くなっています。中学２年生保護者では「子どもの医療費支援の充実」（40.1%）、「就学援助の充実」（37.9%）、「無料又は低額の子どもの学習支援の充実」（32.5%）となっており、就学援助や学習支援より子どもの医療費支援への回答が多くなっています。

【世帯タイプ別・集計区分別／充実すべき子育て・生活支援／全体】

（上段：件　下段：%）

	調査数	保育料や授業料の負担軽減	進学のための奨学金等の充実	子どもの医療費支援の充実	就学援助の充実	無料又は低額の子どもの学習支援の充実	保護者の医療費支援の充実	仕事で帰宅が遅くなる場合や休日勤務の場合等の保育サービスの充実	病児・病後児保育の充実	子どもの就職支援の充実	相談窓口の充実	無料又は低額で食事の提供を行う「子ども食堂」の充実	保護者の就職支援の充実	家賃の安い賃貸住宅の確保に関する支援の充実	その他	特にない	わからない	無回答
全　体	882	527	488	327	321	301	257	211	209	180	107	93	92	92	41	22	15	62
	100.0	59.8	55.3	37.1	36.4	34.1	29.1	23.9	23.7	20.4	12.1	10.5	10.4	10.4	4.6	2.5	1.7	7.0
世帯タイプ（３区分）																		
ひとり親世帯	108	56	61	29	48	35	32	17	14	26	15	10	12	23	2	3	4	11
	100.0	51.9	56.5	26.9	44.4	32.4	29.6	15.7	13.0	24.1	13.9	9.3	11.1	21.3	1.9	2.8	3.7	10.2
ふたり親世帯	750	456	415	291	266	257	217	189	190	149	88	79	79	67	38	18	11	49
	100.0	60.8	55.3	38.8	35.5	34.3	28.9	25.2	25.3	19.9	11.7	10.5	10.5	8.9	5.1	2.4	1.5	6.5
世帯タイプの把握が困難	24	15	12	7	7	9	8	5	5	5	4	4	1	2	1	1	－	2
	100.0	62.5	50.0	29.2	29.2	37.5	33.3	20.8	20.8	20.8	16.7	16.7	4.2	8.3	4.2	4.2	－	8.3
世帯タイプ（５区分）																		
ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）	70	38	41	17	31	21	24	9	11	14	11	7	6	19	1	1	4	5
	100.0	54.3	58.6	24.3	44.3	30.0	34.3	12.9	15.7	20.0	15.7	10.0	8.6	27.1	1.4	1.4	5.7	7.1
ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）	38	18	20	12	17	14	8	8	3	12	4	3	6	4	1	2	－	6
	100.0	47.4	52.6	31.6	44.7	36.8	21.1	21.1	7.9	31.6	10.5	7.9	15.8	10.5	2.6	5.3	－	15.8
ふたり親世帯（共働き）	685	420	383	261	239	237	191	181	181	135	75	70	70	62	32	17	10	44
	100.0	61.3	55.9	38.1	34.9	34.6	27.9	26.4	26.4	19.7	10.9	10.2	10.2	9.1	4.7	2.5	1.5	6.4
ふたり親世帯（父親または母親のどちらかのみ就労）	65	36	32	30	27	20	26	8	9	14	13	9	9	5	6	1	1	5
	100.0	55.4	49.2	46.2	41.5	30.8	40.0	12.3	13.8	21.5	20.0	13.8	13.8	7.7	9.2	1.5	1.5	7.7
世帯タイプの把握が困難	24	15	12	7	7	9	8	5	5	5	4	4	1	2	1	1	－	2
	100.0	62.5	50.0	29.2	29.2	37.5	33.3	20.8	20.8	20.8	16.7	16.7	4.2	8.3	4.2	4.2	－	8.3
集計区分																		
A世帯	143	88	89	48	78	62	48	24	24	44	23	15	18	27	3	1	5	14
	100.0	61.5	62.2	33.6	54.5	43.4	33.6	16.8	16.8	30.8	16.1	10.5	12.6	18.9	2.1	0.7	3.5	9.8
B世帯	685	408	373	252	224	219	193	178	176	125	76	71	66	60	34	18	10	45
	100.0	59.6	54.5	36.8	32.7	32.0	28.2	26.0	25.7	18.2	11.1	10.4	9.6	8.8	5.0	2.6	1.5	6.6

世帯タイプ（３区分）別にみると、ひとり親世帯では「家賃の安い賃貸住宅の確保に関する支援の充実」が 21.3%と、ふたり親世帯（8.9%）を 12.4 ポイント上回り、ふたり親世帯では「子どもの医療費支援の充実」が 38.8%と、ひとり親世帯（26.9%）を 11.9 ポイント、「病児・病後児保育の充実」が 25.3%と、ひとり親世帯（13.0%）を 12.3 ポイント上回っています。

集計区分別にみると、Ａ世帯では「就学援助の充実」が 54.5%と、Ｂ世帯（32.7%）を 21.8 ポイント上回っているのに加え、「無料又は低額の子どもの学習支援の充実」（43.4%）では 11.4 ポイント、「子どもの就職支援の充実」（30.8%）では 12.6 ポイント、「家賃の安い賃貸住宅の確保に関する支援の充実」（18.9%）では 10.1 ポイント、Ｂ世帯を上回っています。

（4）子育てに関する不安や悩みごとなど（自由意見）

最後に、子育てに関する不安や悩みごとなど、ご意見がございましたら自由にご記入ください。

（件）

		小学５年生保護者	中学２年生保護者	合計
1	経済的支援	26	26	52
2	子育て支援	27	20	47
3	不安	0	27	27
4	学校への不満	11	10	21
5	学費支援	6	13	19
6	遊び場・集まる場所	16	2	18
7	要支援	5	12	17
8	解決希望	1	10	11
9	障害	1	6	7
10	コロナ	0	7	7
11	学習支援	3	3	6
12	ひとり親	1	4	5
13	健康・病気	2	1	3
14	就職	0	3	3
15	その他	4	0	4
	合計	103	144	247
	※記入者数	78 人	65 人	143 人

子育てに関する不安や悩みごとなどについて、自由に記入いただいた意見を内容ごとに分類しました。内容ごとの件数については上表のとおりです。